

第226回「地域の会」定例会資料〔前回定例会以降の動き〕

【不適合関係】

- 3月18日 6号機非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて
（公表区分：Ⅲ） [P. 3]
- 3月23日 5号機取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて
（公表区分：Ⅲ） [P. 5]

【発電所に係る情報】

- 3月9日 第19回原子力改革監視委員会における当社ご説明内容について [P. 7]
- 3月10日 柏崎刈羽原子力発電所7号機設計及び工事計画の届出書提出について
（低圧蒸気タービンの取替） [P. 18]
- 3月10日 （運転保守状況）7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて
（公表区分：Ⅲ） [P. 23]
- 3月10日 （運転保守状況）保安規定対象記録の未保存について（公表区分：Ⅲ） [P. 24]
- 3月10日 （運転保守状況）5号機非常用ガス処理系入口隔離弁の動作不良に
ついて（公表区分：Ⅲ） [P. 24]
- 3月10日 （運転保守状況）1号機熱交換器建屋エリア屋外照明用自動点滅器の
火災について（公表区分：Ⅰ） [P. 25]
- 3月10日 （運転保守状況）7号機タービン建屋大物搬入口エリア電動シャッ
ターのモーター給電ケーブルの火災について（公表区分：Ⅰ） [P. 25]
- 3月16日 （お知らせ）地震発生後のプラント状況について（第1報） [P. 26]
- 3月17日 （お知らせ）地震発生後のプラント状況について（第2報） [P. 28]
- 3月17日 （お知らせ）地震発生後のプラント状況について（第3報）（最終報） [P. 30]
- 3月29日 2022年度使用済燃料等の輸送計画について [P. 32]
- 3月29日 柏崎刈羽原子力発電所における使用済燃料の2022年度号機間輸送
計画について [P. 33]
- 3月30日 執行役人事 [P. 34]
- 3月30日 人事通知 [P. 36]
- 3月30日 原子力改革の進捗状況について [P. 37]
- 3月31日 日本フェンオール株式会社による火災感知器および中継器に関する
不正行為について（当社設備への影響） [P. 43]

*以下、新型コロナウイルス関係

- 3月4日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 44]
- 3月5日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 45]
- 3月6日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 46]
- 3月10日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 47]

- 3月 11日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 48]
- 3月 12日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 49]
- 3月 14日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 50]
- 3月 16日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 51]
- 3月 17日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 52]
- 3月 18日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 53]
- 3月 20日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 54]
- 3月 21日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 55]
- 3月 24日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 56]
- 3月 26日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 57]
- 3月 27日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 58]
- 3月 28日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 59]
- 3月 29日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 60]
- 3月 30日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 61]
- 3月 31日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 62]
- 4月 1日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 63]
- 4月 2日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 64]
- 4月 3日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 65]
- 4月 4日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 66]
- 4月 5日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 67]
- 4月 6日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 68]
- 4月 7日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 69]
- 4月 8日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 70]
- 4月 9日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 71]
- 4月 10日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 72]
- 4月 11日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 73]
- 4月 12日 柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要 [P. 74]

【その他】

- 4月 5日 長岡市・十日町市・見附市・出雲崎町における「東京電力コミュニケーションブース」の開設について [P. 75]
- 4月 13日 広報活動の取り組みについて（4月活動報告） [P. 76]

【福島を進捗状況に関する主な情報】

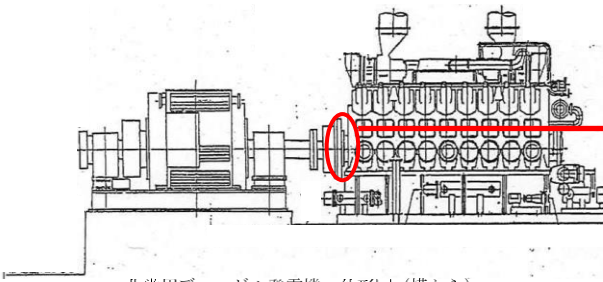
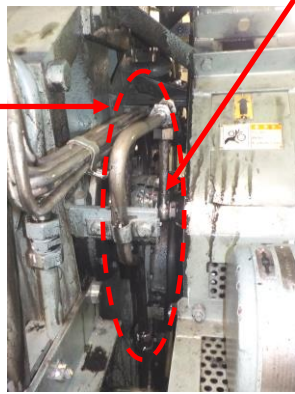
- 3月 31日 福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ
進捗状況（概要版） [別紙]

<参考>

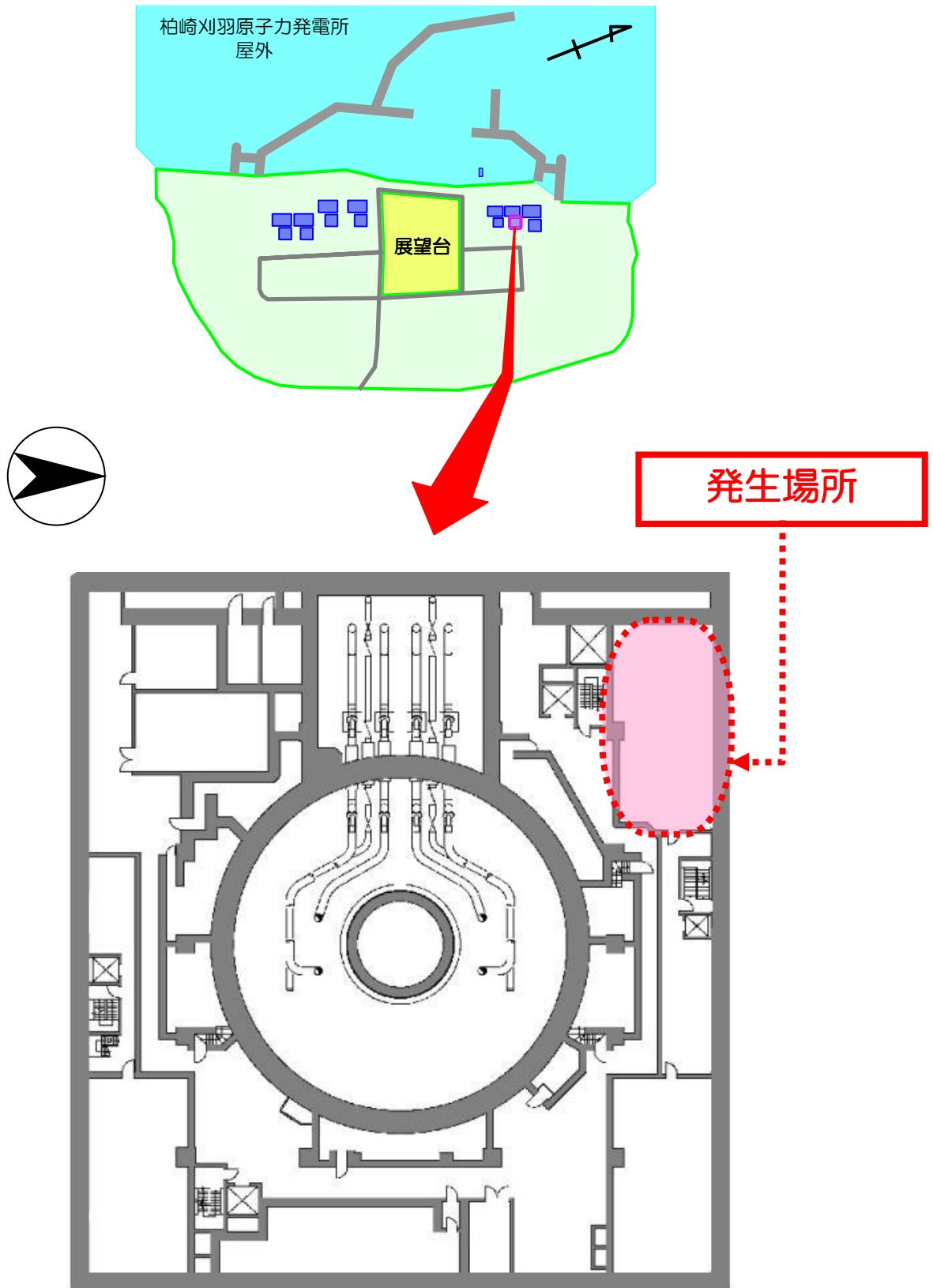
当社原子力発電所の公表基準（平成15年11月策定）における不適合事象の公表区分について	
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象
区分Ⅱ	運転保守管理上重要な事象
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象
その他	上記以外の不適合事象

以上

区分：Ⅲ

号機	6号機	
件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて	
不適合の概要	<p>2022年3月17日、原子炉建屋1階（非管理区域）において、非常用ディーゼル発電機（A）の24時間連続運転試験を実施していたところ、17時15分頃に非常用ディーゼル発電機（A）の軸受部から潤滑油が漏れいしていることを確認したことから、非常用ディーゼル発電機（A）を停止するとともに、一般回線にて公設消防へ連絡しました。</p> <p>潤滑油の漏れいは停止しており、漏れ出た潤滑油の量は、1リットル未満と推定しております。また、漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行うとともに、中和剤での処理を行いました。</p> <p>なお、漏れいした潤滑油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>非常用ディーゼル発電機 外形図（横から）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>潤滑油漏えい箇所</p> <p>軸受部</p> </div> </div>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	今後、潤滑油が漏れいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。	

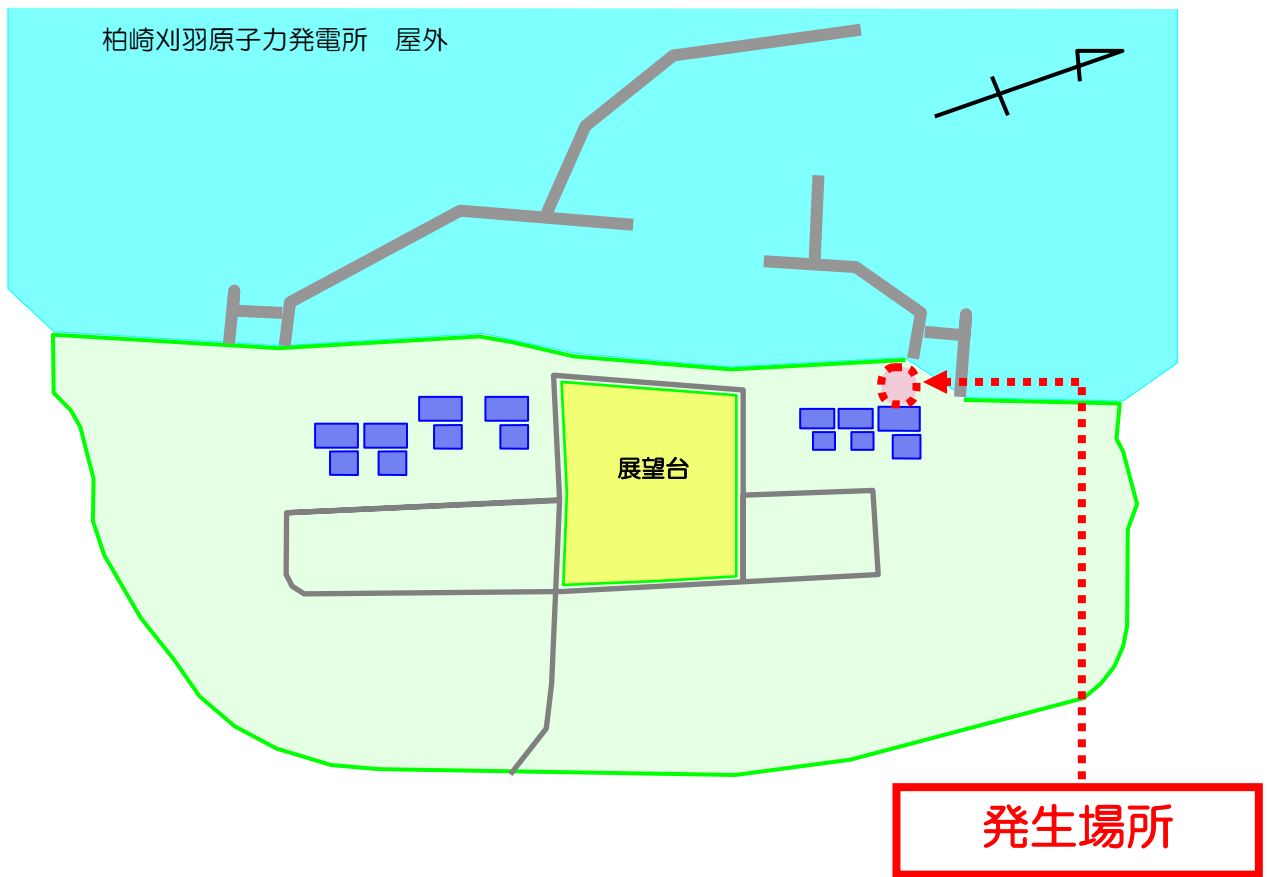
6号機非常用ディーゼル発電機 (A) からの油漏れについて



区分：Ⅲ

号機	5号機	
件名	取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて	
不適合の概要	<p>2022年3月18日10時00分頃、屋外の取水口エリアにある設備の点検で使用するクレーンのワイヤーが切断する事象が発生しました。当該クレーンは、休止中であり、使用再開のために点検を行っていたところ発生したものであり、労働安全衛生規則による事故報告書が必要であるかの確認を労働基準監督署に行うこととしました。</p> <p>本日、労働基準監督署に現場の状況をご確認いただいたところ、労働安全衛生規則に基づく事故報告書が必要と判断されました。</p> <p>なお、今回の事象によるけが人の発生はありません。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、速やかに事故報告書を提出するとともに切断した原因調査およびワイヤーの交換を実施し、再発防止対策を講じてまいります。</p> <p>また、発電所構内にある類似のクレーンのワイヤーについて点検を行ってまいります。</p>	

5号機取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて



柏崎刈羽原子力発電所 5号機 屋外

第19回原子力改革監視委員会における当社ご説明内容について

2022年3月9日

東京電力ホールディングス株式会社

本日、当社は、「原子力安全改革」に対する取り組みとして、これまで実施してきた継続的改善への取り組み状況等について、原子力改革監視委員会（以下、「同委員会」）にご説明しておりますので、お知らせいたします。

今後も自己評価を通じた継続的な改善に努めてまいります。

なお、本日の会合で同委員会から受領した自己評価に対するレビュー結果については、同委員会HP（<http://www.nrmc.jp/index-j.html>）をご参照下さい。

（添付資料）

- ・原子力安全改革の取り組み状況 ～これからの原子力改革～
- ・福島第一の取り組み状況

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 03-6373-1111（代表）

原子力安全改革の取り組み状況

～これからの原子力改革～

2022年3月9日

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

今回のご報告内容

- 前回委員会では、柏崎刈羽原子力発電所等で発生した一連の事案について、原因究明等の経緯、結果等を検証することが示された
- 安全対策工事未完了については、原因究明の途中であるが、今後我々が進めていく原子力改革の骨子が取りまとまったことからご報告させて頂く

一連の事案を踏まえた重要な追記 (2021.3.31)

- ・ 「人は誤りを犯す」との原則を忘れることがあってはならず、そのために多重の備えが求められているという原点に帰って欲しい。
- ・ 原子力安全を実行する上で、各人の果たすべき役割、責任を明確に認識するための方策を検討し、実行して欲しい。

報告内容

- 一連の事案の根本原因
- 原子力改革の骨子

IDカード不正使用および核物質防護設備の機能の一部喪失

● IDの不正使用

2020年9月20日、当社社員が同僚のIDカードを使用し中央制御室へ入域。
社員警備員は違和感を覚えつつも入域を止めるには至らず。

● 核物質防護設備の機能の一部喪失

2021年1月27日以降、侵入検知に関わる核物質防護設備の複数箇所が、
故障してから復旧までに長期間を要していたこと、その間も十分な代替措置が
講じられていなかったことが明らかに。

⇒上記により、原子力規制委員会からは、4段階の重要度評価※中で**最も重い「赤」と評
価となり**、検査区分が変更され、原子力規制庁による追加検査の受検が必須

⇒検査区分が元に戻るまで**「核燃料物質の移動を禁止」する規制措置命令**を受領

安全対策工事の一部未完了

2021年1月12日、7号機の安全対策工事が完了したことを公表。

同年1月27日、**工事の一部が未完了**であることが判明したため総点検を実施。

その後、**溶接部における技術基準適合性や火災感知器の設置に関する問題も発生。**

⇒安全対策工事の一部未完了に関する総点検を実施中

一連の事案の根本原因

- IDカード不正使用および核物質防護設備の機能の一部喪失における背後要因を踏まえ、両事案の根本原因として、以下の3つの根本原因を特定
- 核物質防護に関する両事案の根本原因は**安全対策工事の一部未完了に関する根本原因にも通じるもの**と史料

3つの根本原因

① **リスク認識の弱さ**

柏崎刈羽の核物質防護部門において「核物質防護は情報の機密性が重要であり、現場でしっかり対応している」ことから、「社員は内部脅威になり得ない」と思い込む等の「**リスク認識の弱さ**」

② **現場実態の把握の弱さ**

こうした思い込みを覆すだけの十分かつ具体的な情報を、核物質防護管理者、発電所長、本社の原子力運営管理部長等が把握しなかったという「**現場実態の把握の弱さ**」

③ **組織として是正する力の弱さ**

社内外からの指摘があったにも関わらず、発電所長以下の責任者や本社原子力運営管理部が長期にわたり改善せず核物質防護に対する要求に見合った適切な手当をしてこなかったという「**組織として是正する力の弱さ**」

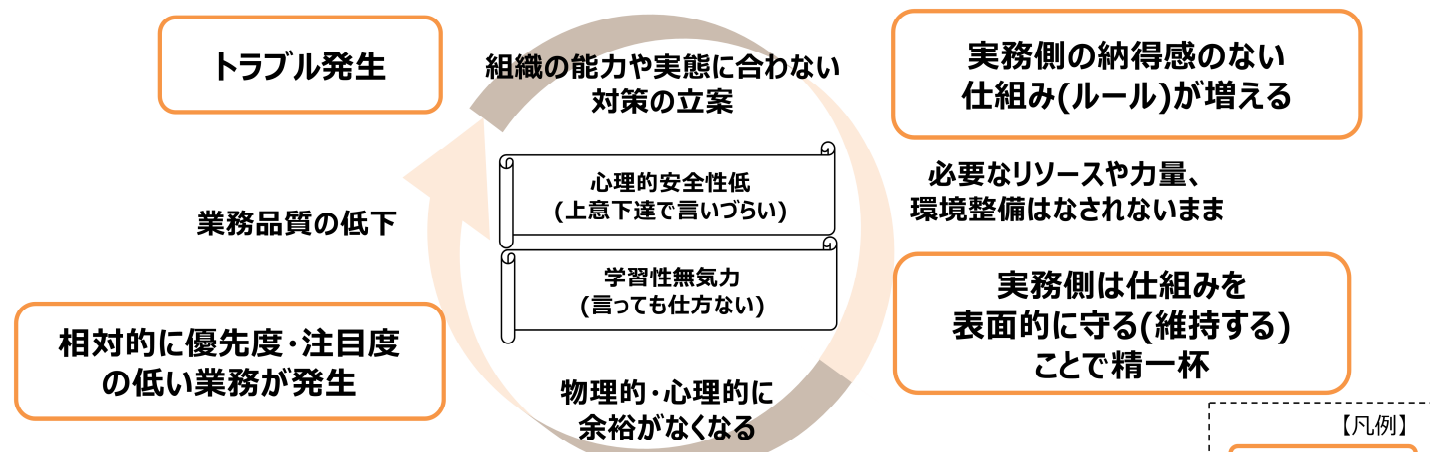
- 原子力安全改革プランの取り組みにより、安全意識・技術力・対話力の面で進捗が見られる一方、事故を起こした当社が信頼される原子力事業者生まれ変わるために改善が必要なものを確認
- 「常に自らの弱みを特定し改善し続けること」は、原子力に係る私達の重要な責務

	主に進捗が見られるもの	改善が必要なもの
安全意識	<ul style="list-style-type: none"> ● 原子力安全に係る監視機能、経営への報告（原子力安全監視室、炉主任、リスク管理体制等） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人ひとりのリスク認識の弱さ（誰かがやっているから、きっと大丈夫だろう / 私には関係ない）
技術力	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全性向上コンペ提案、運転経験情報、SA設備設計等の技術力向上 ● 緊急時対応作業や使用設備（ポンプ等）点検の直営化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロジェクト体制、運用が脆弱（安全対策工事一部未完了等） ✓ 現場を把握する力（日常の設備保守・点検の直営力等）
対話力	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的かつ迅速な情報公開の姿勢（トラブルを遅滞なく公表、区分に囚われない前広な情報発信等） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 職場内コミュニケーションの不足、リスク情報の共有不足（火種の検知、防火が十分ではない）



問題を繰り返す背景～考察～

- 一連の問題※の背後情報を整理した結果、共通する要素が見つかり、以下に示すような悪循環に陥っていることが分かった。
- トラブルの度に対策を重層的に積み重ね、表面的な対応で精一杯となり、時が過ぎると別のトラブルが生じる悪循環を繰り返している。
- 安全性向上に寄与し難い重層的な取り組みについて、NHK（なくす・へらす・かえる）を行い自組織の能力に見合った仕組みや体制を整える。



※当社原子力部門が過去に起こした大きなトラブルの例
 ・原子力不祥事（シュラウドデータ改ざん等）（2002年）
 ・法定点検に関わるデータ改ざん（2006年）
 ・福島第一原子力発電所事故（2011年）
 ・不適切なケーブルの敷設（2016年）
 ・柏崎刈羽原発重要棟問題（2017年）

【凡例】
 観測される事象
 全体に通底する組織心理的状況



原子力改革の意義 = 「信頼される企業」となる

安心感の醸成 【信じられる】状態

存在する上で当たり前の状態
を継続（喫緊）

平時

- ・ルール遵守、安全作業、適切な情報発信 など

異常時

- ・迅速で透明性(納得感)のある情報発信、迅速な復旧

価値を共有できる関係構築 【頼る・頼られる】状態

win-win関係の構築
(短期中期)

- ・電気事業を通じ、地元企業(雇用)と共に成長する状態

【同化していく】意識

「我が町の発電所」という
意識面での関係構築
(中長期)

- ・個々人が価値観を共有する継続的な地元企業になること(地元雇用、地域活動)

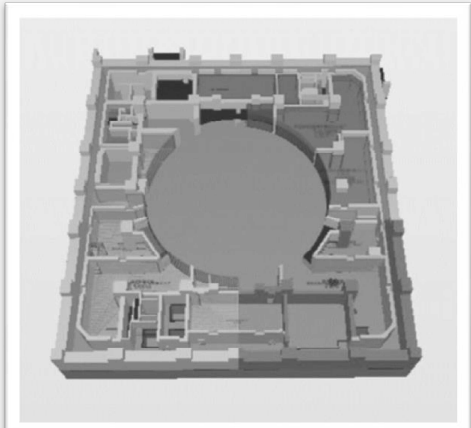
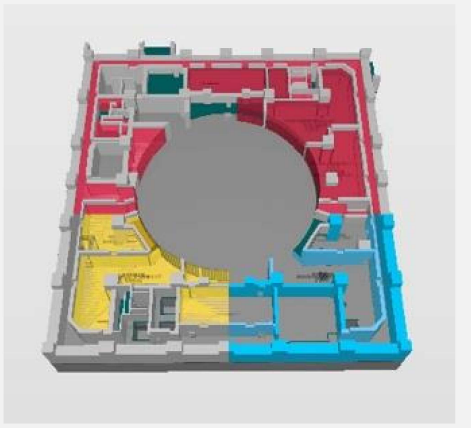
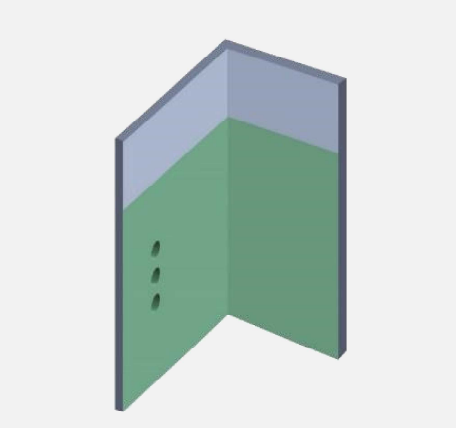
改革項目

- 項目1 本社・サイトの一体的な運営
 - 項目2 プロジェクトを完遂するための体制・システムの導入
 - 項目3 核物質防護の抜本強化・リソースの拡充や質の向上
 - 項目4 人事配置・ローテーションの見直しや外部専門家活用
 - 人財育成方針・研修計画策定
 - 項目5 職場の活力向上・職場環境改善
- お客さまニーズにもとづく業務運営に向けたニーズ把握，展開
地元の技術力を活用した業務品質の向上



改革の具体例（項目2）

■貫通孔の管理システムのイメージ（BIM：Building Information Modeling）

作業ステップ ^o 1	作業ステップ ^o 2	作業ステップ ^o 3
<p>■ BIM躯体モデル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋躯体を3Dで可視化 ・ 工事未完了問題対応として、バウンダリ設定箇所の三次元的な建屋構造把握に寄与 	<p>■ バウンダリ入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3D化された躯体にバウンダリが識別され可視化 ・ バウンダリに関連する業務における三次元的な構造の把握に寄与 	<p>■ 貫通部BIM化、属性情報付与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁に設置されている貫通部の位置や数を可視化 ・ 貫通部関連業務の効率化に寄与
		



■ トップメッセージの発信と発電所上層部による浸透活動

- 核セキュリティに関して「トップからのメッセージが十分に届いていなかった」ことから、就任後、所員へ改革に向けた決意と地域や社会の皆さまに信頼される発電所作りへの思いを発信
- 所員一人ひとりが「安全が最優先」という意識を再認識するために、福島第一原子力発電所事故を経験した所長による、全所員を対象にした講演会を実施
- 今後も、所員へ直接話しかける形で、所員の安全に対する自覚を高める活動を継続



<概要>

開催日：2021年10月12日 11:00～12:00

※以降、複数回実施

対象：柏崎刈羽原子力発電所 全所員

場所：柏崎刈羽原子力発電 免震重要棟
(web会議システムでも同時配信)

内容：福島第一原子力発電所事故の概要
事故から何を学んだか
事故の反省を踏まえた、一連の事案の振り返り

<参加者の感想>

- ・事故後の入社なので、当時の状況を知ることができた。非常にためになった
- ・当時のことを思い出した。訓練を継続し、非常時の対応力を高めていきたい
- ・現場を知ることの重要性を再認識させられた
- ・この事故のことを自分事として捉える必要があると感じた

■ 経営層対話における対応状況（例）

- 小早川社長、稲垣本部長兼所長による核物質防護業務を担う所員との対話を実施。
- 対話で寄せられた意見については、防災安全部長へ対応を指示するとともに、稲垣本部長兼所長自ら現場の対応状況を確認。
- 引き続き、現場から寄せられた声について、経営層と現場が一体となって改善を図るための取り組みを実施していく。

<核物質防護業務を担う所員から寄せられた声の一例>

- ・冬を迎えるにあたり、核物質防護設備の故障が発生した場合に備えて準備を整えたい
- ・社員警備員だけでは冬場の荒天時の設備不具合対応が不安

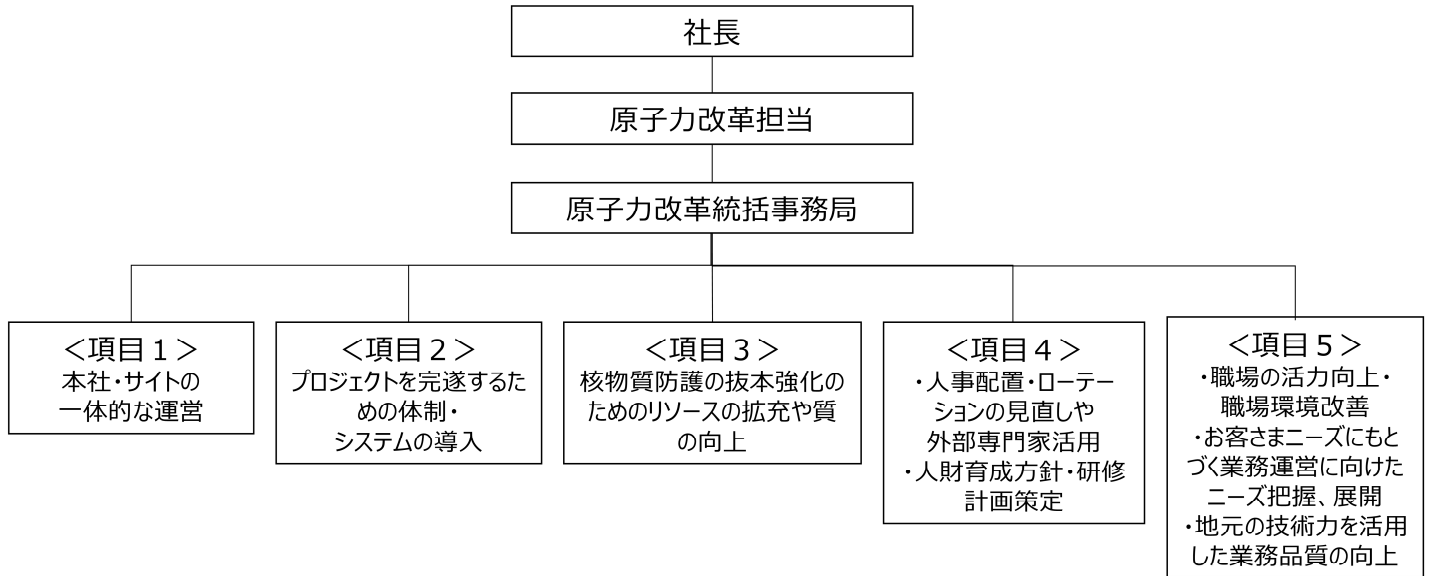
<対応状況>

- ・核物質防護部門の社員警備員に加えて事務所で勤務する社員、協力企業警備員を含めた体制を整備
- ・荒天時に影響がでる防護設備について、対策を施したものへ取り換えを順次実施中



対応状況を確認する稲垣本部長兼所長

- 第四次総合特別事業計画の基本方針にある5項目に沿ってチームを編成
(ただし、5項目に限定せずに検討を実施中)
- 原子力改革担当をリーダーに、原子力部門社員だけでなく法務部門、社員OB、メーカOBも参加した約35名で改革方針を検討
- 原子力改革の実践にあたり、本社・サイトに実行部隊を整備
- モニタリング、具体的なアクションプラン内容を踏まえて改革実効性を評価していく予定



私たちの決意

福島第一原子力発電所事故を決して忘れることなく、昨日よりも今日、今日よりも明日の安全レベルを高め、比類無き安全を創造し続ける原子力事業者になる

参考資料

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

工事未完了等に関する総点検の対応状況

件名	総点検	原因分析	是正工事状況	使用前事業者 検査
① 工事 未完了	ダンパー設置 (7台) 1月27日公表	貫通部以外の総点検	実施済 (21年4月)	是正工事対応後 に実施予定
	火災感知器設置 (5箇所) 2月15日公表	実施済 (21年9月)	実施済 (21年2月)	
	貫通部浸水防護 (1箇所) 2月26日公表	貫通部の総点検 実施中	実施済 (21年3月)	
	貫通部火災防護 (4箇所) 3月3日公表 (72箇所) 6月10日公表		実施中	
	貫通部浸水防護 (5箇所) 9月22日公表			
② 溶接部 適合性 確認	伸縮継手取換 (2箇所) 2月15日公表	検討済 (21年3月)	対応中	是正工事対応後 に実施予定
	適合性確認(書類) (4箇所) 6月10日公表 (10箇所) 9月22日公表	実施済 (21年9月)		
	配管取換 (1箇所) 9月22日公表	検討済 (21年11月)		
	計器取換 (6箇所) 9月22日公表			
③ 火災 感知器 設置*	21年2月発見分 (3個) 3月15日分不適合	実施済 (21年9月)	検討済 (21年11月)	是正工事対応後 に実施予定
	21年3~9月発見分 (2個) 4月19日分不適合 (100個) 9月22日公表		実施済 (21年4月)	

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

- 7号機の新規制基準に基づく安全対策工事の一部未完了を踏まえた総点検については、貫通部火災防護、浸水防護工事を除いて完了
- ダンパ未設置、火災感知器未設置、貫通部止水工事未実施、貫通部火災防護工事未実施の4類型89箇所を確認
- 貫通部の総点検については、個々の貫通部点検に加え、面（壁・床）、空間（部屋）単位での点検を確実に実施中
- また、原子力規制庁からご指摘の以下の2案件について総点検を行い、それぞれ原因を分析し対策を立案
 - ・溶接部における技術基準適合性確認の一部試験未実施等（23機器を確認）
 - ・一部の火災感知器における設置要求を満たさない位置への設置（105個を確認）
- 今後、貫通部の総点検を完了したうえで、溶接部の一部試験未実施等や設置要求を満たさない位置への一部の火災感知器設置を含めて、総点検を取りまとめて組織要因分析を実施する
- 未完了箇所等については、是正工事等を安全最優先で進め、使用前事業者検査を順次行っていくとともに、対策について6号機以降の対応に反映する



リスク情報の収集・分析結果

改革プランの取り組みの一つとして進めているリスク管理体制の強化については、保安規定における「原子力事業者としての基本姿勢」の中にも位置付けられており、構築した仕組みに則り運用を開始している。運用実績は以下の通り。

（1）情報の収集対象

収集対象は、国の機関等の報告、運転経験情報、学協会等の論文・報告、雑誌等の刊行物、海外情報等。

（2）情報の整理方法

情報源から知見を収集し、原子炉施設の設計・開発の想定を超えるおそれがあるものを、特に重要度が高い「重要なリスク情報」として抽出。

（3）結果

（1）（2）により情報を収集・抽出した結果、今回報告分としては重要なリスク情報は0件だった。

以下の内容については、添付にて補足する。

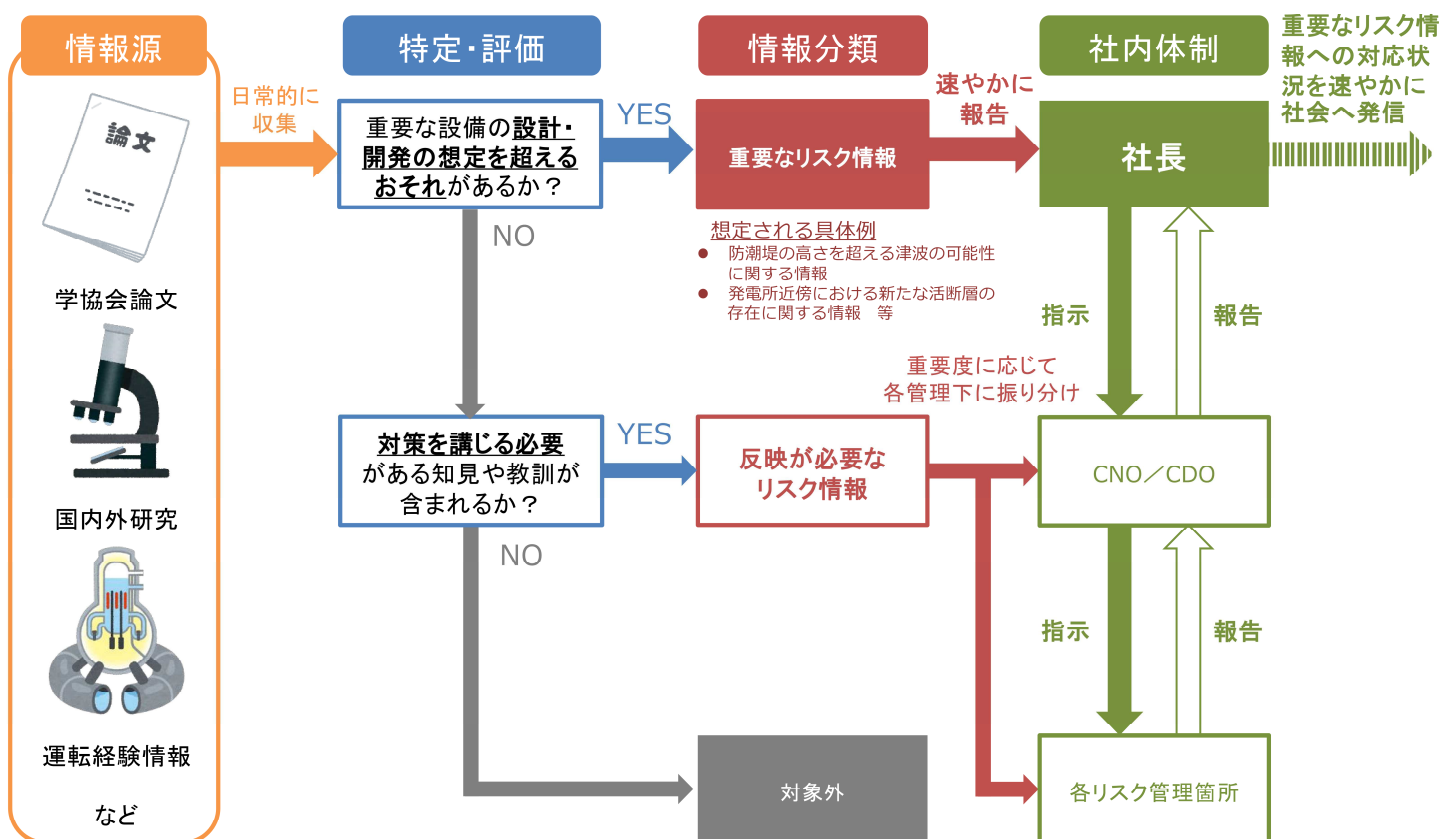
- 収集対象となる情報源の具体例
- 情報の整理方法の概要
- 昨年度に、重要なリスク情報として抽出した案件の対応状況

なお、重要なリスク情報には至らないまでも原子炉施設の安全性向上に資する情報については、適宜設備の設計や運用に反映し、継続的な改善へと展開している。



収集対象項目	情報源（約280箇所、以下例示）
安全に係る研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社研究 ・ 電力共通研究 ・ 日本原子力研究開発機構(JAEA) ・ 米国 電力研究所(EPRI)
運転経験情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力施設情報公開ライブラリー(NUCIA) ・ 電気事業連合会 ・ 世界原子力発電事業者協会(WANO) ・ 米国原子力発電協会(INPO)
確率論的リスク評価を実施するために必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力共通研究 ・ 電力中央研究所報告書 ・ 米国 原子力規制委員会(NRC)報告書 ・ NRC技術諮問委員会(TAC)コメント
国内外の規格基準情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本電気協会規格 ・ 日本機械学会規格 ・ 国際原子力機関(IAEA)基準 ・ 米国 原子力学会(ANS)基準
国際機関及び国内外の学会等の情報（自然現象以外）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本原子力学会 ・ 日本機械学会 ・ 米国 原子力学会(ANS) ・ 米国 機械学会(ASME)
国際機関及び国内外の学会等の情報（自然現象）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震調査研究推進本部 ・ 国土地理院 ・ 日本火山学会 ・ 気象庁

情報の整理方法の概要



対象

福島第一原子力発電所

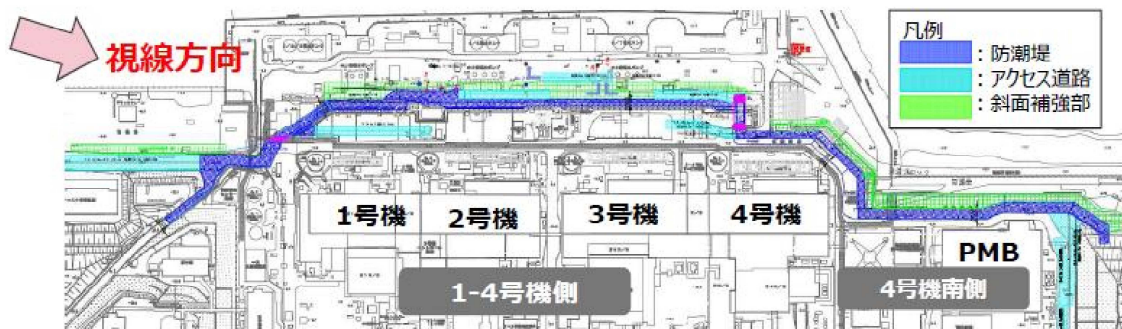
入手情報

内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」から日本海溝（三陸・日高沖）モデル（Mw9.1）と千島海溝（十勝・根室沖）モデル（Mw9.3）の2つの波源モデルについて津波シミュレーション結果が2020年4月21日に公表された。なお、当該シミュレーションは、社内で実施していた想定条件と異なるものであった。

	対応状況
①リスク情報収集	【4/21】上記の情報を入手。 内閣府の検討結果が、社内検討に基づき建設中の防潮堤高さを超える可能性あり。ただし、津波による敷地浸水に対する主要設備の復旧手順は整備済み。
②リスク情報を速やかに報告	【4/22】 廃炉・汚染水対策最高責任者（CDO）へ報告実施。 【4/27】 社長へ報告実施。 社長指示：汚染物の流出を防ぐ方法を検討すること。
③リスク緩和措置の実施	社長指示を受け、汚染物の流出を防ぐ方法として、整備済み手順に基づく対応をより確実にするために下記を実施。 ・資機材整備状況の確認と追加配備の要否検討。 ⇒【4/28】追加配備要と決定。追加資機材配備は2020年度に完了。 ・訓練実施状況の確認と追加訓練の要否検討。 ⇒【4/28】追加訓練要と決定。追加訓練は2020年度に開始し、継続実施中。
④追加措置の実施	・内閣府の波源モデルを入手し、詳細な地形データ等を踏まえた津波シミュレーションを実施。津波シミュレーションは2020年度上期に完了。 ・津波シミュレーション結果に基づき、追加で実施すべき措置の要否を検討。 ・追加措置として、2021年度より日本海溝津波防潮堤設置工事着工。2023年度下期完成予定。



日本海溝津波防潮堤 鳥瞰図（1-4号機エリア）



柏崎刈羽原子力発電所7号機 設計及び工事計画の届出書提出について (低圧蒸気タービンの取替)

- 2008年に、柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼の損傷を確認。損傷箇所を確認した結果から、原因は高サイクル疲労[※]と推定。
【2008年9月19日公表済】
- 当時の対策として、新品への交換や傷の除去、運用面の見直し等を実施。2009年の運転再開以降、現時点までに異常なし。
- 将来に向けた更なる信頼性向上にむけて、より振動応力に強いタービンの設計改良を進めてきており、今般、その設計改良が完了したことから、当該タービンの製造に着手。

※ 材料に約1万～10万回以上繰り返して荷重が加わることにより、亀裂が発生し最終的に破断に至る現象

2022年3月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

TEPCO

低圧蒸気タービン取替に対する経緯

1

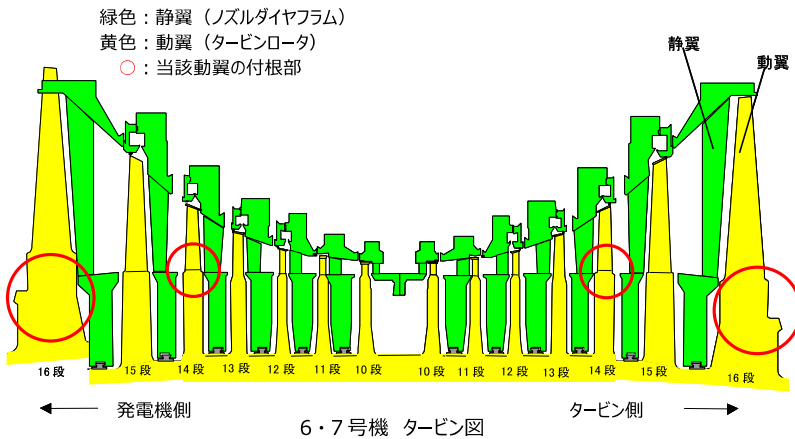
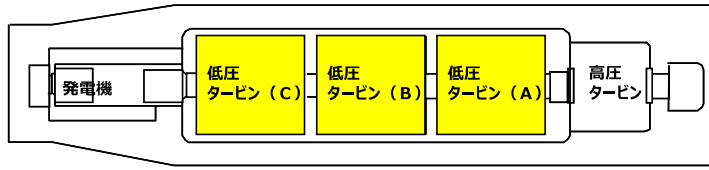
2008年3月 柏崎刈羽6,7号機において、低圧タービン動翼に損傷を確認

2008年9月 損傷の原因と対策を取りまとめ、報告書として公表[※]

- 原因は、高サイクル疲労によるもの
 - 設備面と運用面で対策を実施し安全性を確保
 - ✓ 設備面：新品への交換、傷の除去、等
 - ✓ 運用面：高サイクル疲労の要因となる事象の経験量に応じて点検
上記以外にも、累積運転時間に応じて抜き取り点検
プラントパラメータのモニタリング、等
- ⇒2008年以降の運転について異常が無いことを確認済
- 更なる信頼性向上策として、以下を計画
 - ✓ 損傷部位の検査技術の信頼性向上【2024年頃実用化予定】
 - ✓ 設計改良を行い、より振動応力に強いタービンへ取替、等

今回 更なる信頼性向上策のうち、タービン取替に係る設計改良が完了したことから、7号機タービン製作に向けて原子力規制庁に「設計及び工事計画の届出書」を提出予定

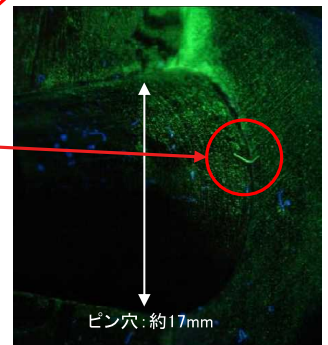
- 6,7号機の蒸気タービンは、高圧タービン1台と低圧タービン3台で構成。
- 各低圧タービンの動翼は、第10~第16段で構成されているが、2008年3月の点検において、第14段と第16段動翼の付根部に損傷を確認。



第14~16段
動翼の構造
(付根部:フォーク型)



第14段動翼の損傷状況 (折損)



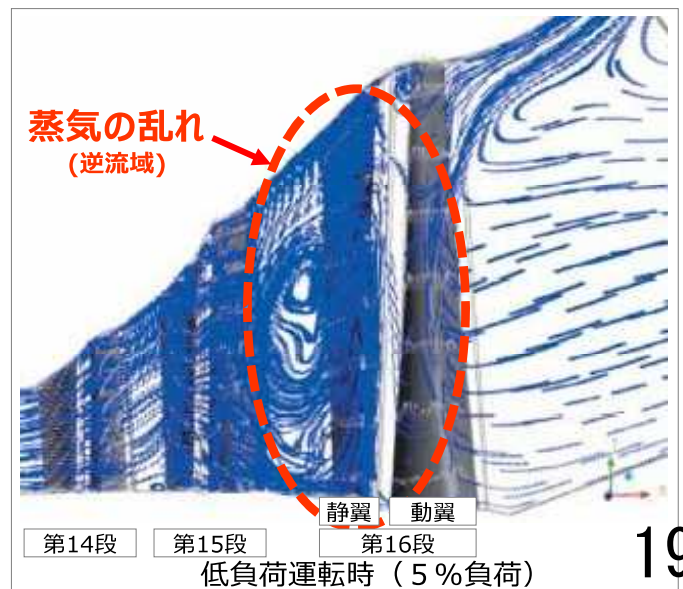
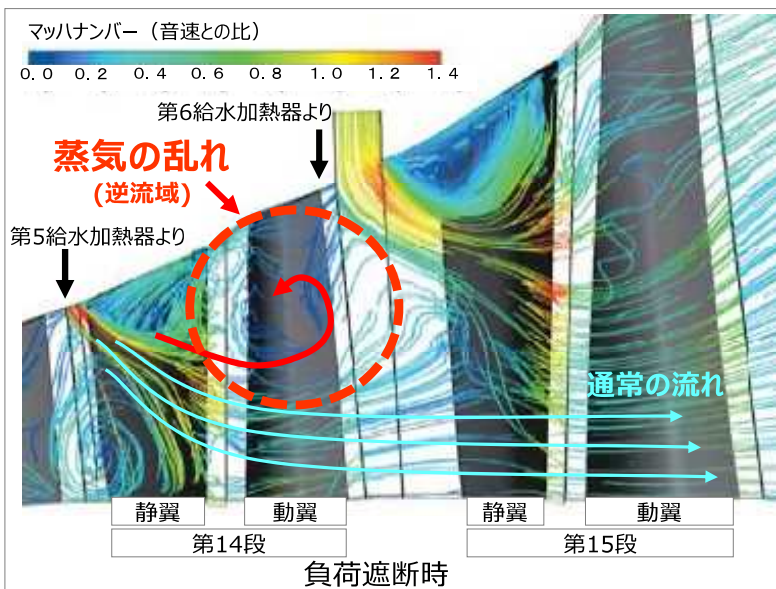
第16段動翼の損傷状況 (傷)

2008年発生 of 6,7号機 低圧蒸気タービン動翼損傷の原因

- 流れ解析等の結果、以下の要因で蒸気の乱れによる振動応力が発生し、高サイクル疲労を起こしたものと推定。
 - 第14段：負荷遮断※1時、低圧蒸気タービン内が急激に真空に近い状態となることで、給水加熱器に送っていた蒸気に高速の逆流が発生 (フラッシュバック)
 - 第16段：低負荷運転※2時、第16段付近の蒸気の流れに乱れが発生 (ランダム振動)

※1 送電系統トラブル等からタービンや発電機を守るため、負荷から切り離されること

※2 定格に対して低い負荷 (蒸気流量が少ない状態) で、タービンを定格回転数で運転している状態



流れ解析の結果

- ・設備面と運用面において、以下の対策を実施。

	第14段	第16段
設備	・全ての同翼を、同設計の新品に交換	・全ての同翼で、傷発生箇所（ピン穴端部）を面取り加工し、傷の除去と応力の緩和を実施
運用 (点検)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負荷遮断が4回に達した時点で点検（損傷確認時の12回に対し保守的に1/3） ・ 負荷遮断が4回に達しなくても、低圧車室(B)タービンの開放点検に合わせて動翼フォーク部を点検(サンプリング率は翼数の20%程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低負荷運転時間が80時間に達する前に点検（損傷確認時の約240時間に対し保守的に1/3） ・ 低負荷運転時間が80時間に達しなくても、低圧車室(B)タービンの開放点検に合わせて動翼フォーク部を点検(サンプリング率は翼数の20%程度)
運用 (監視、 運転 操作等)	・プラントパラメータのモニタリング（負荷遮断によるフラッシュバック発生時）	<ul style="list-style-type: none"> ・プラントパラメータのモニタリング（低負荷運転時） ・低負荷運転時間を可能な限り短縮（低負荷時の逆流が発生する時間を低減）

【参考】2008年以降の運転実績は、損傷時や設定した点検タイミングに対して十分な余裕がある状態。

- ・ 2008年に損傷を確認 ⇒ 負荷遮断：12回、低負荷運転：約 240時間 [プラント運転時間 約10年]
- ・ 原因を踏まえ、2008年に点検タイミングを設定 ⇒ 負荷遮断：4回、低負荷運転：約 80時間
- ・ 交換・補修後、2008年以降の運転実績 ⇒【6号機】負荷遮断：0回、低負荷運転：約 23時間 [プラント運転時間 約1.5年]
⇒【7号機】負荷遮断：0回、低負荷運転：約 18時間 [プラント運転時間 約1.5年]

6,7号機 低圧蒸気タービンの更なる信頼性向上策

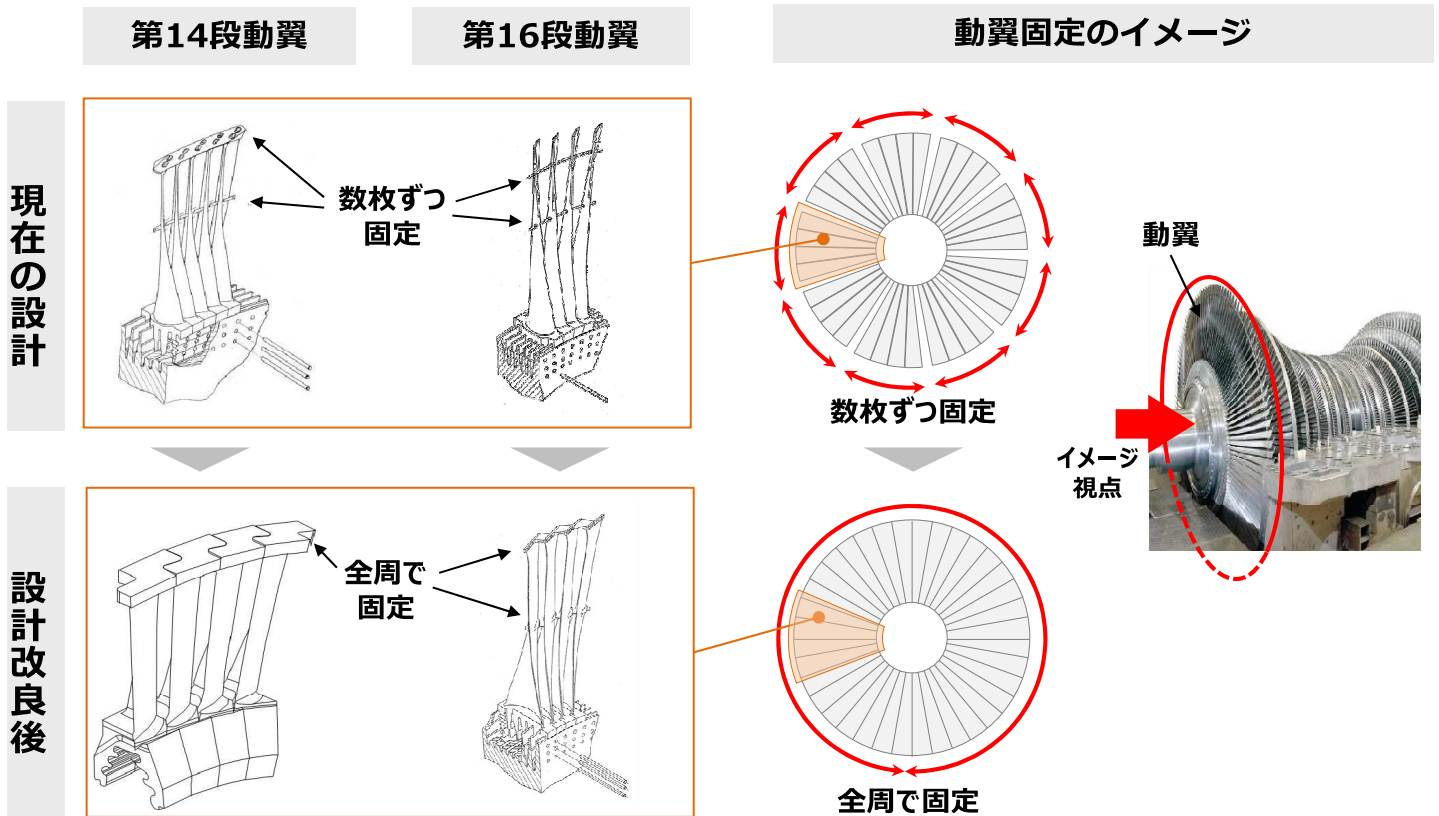
- ・設備面と運用面における対策により安全性に問題はなく、これまでの点検からも、異常は無いことを確認済。
- ・加えて、将来に向けた更なる信頼性向上を目的として、設計改良を進めてきており、今回、設計及び工事計画の届出を行い、タービン製作を進めていく。

項目	取り組み事項（2008年9月19日公表済み）	実施状況
運用 (点検等)	・第14段および第16段の点検やモニタリング結果を適宜、分析・評価し、対策の有効性を確認	2009年12月より実施中（運転時のみ）
	・タービン動翼フォーク部（付根部）の検査技術として、超音波探傷試験（UT）※1の信頼性向上を検討	傷検出可否の確認試験中（2024年実用化予定）
	・7号機低圧（B）タービン第16段動翼のフォーク部点検に合わせて、第15段動翼のフォーク部点検を行い、今後の知見を拡充	設計改良タービンへの取替進捗も考慮し今後検討
設計	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷遮断時のフラッシュバックや、低負荷運転時のタービン動翼に発生する応力について、詳細に評価 ・フォーク部（付根部）に発生する振動応力が一層低減するような設計改良について、10年程度以内※2の実用化を目標に検討 	<p>タービンの設計改良が完了</p> <p>今回、製作に着手</p>

※1 非破壊検査法の一つ

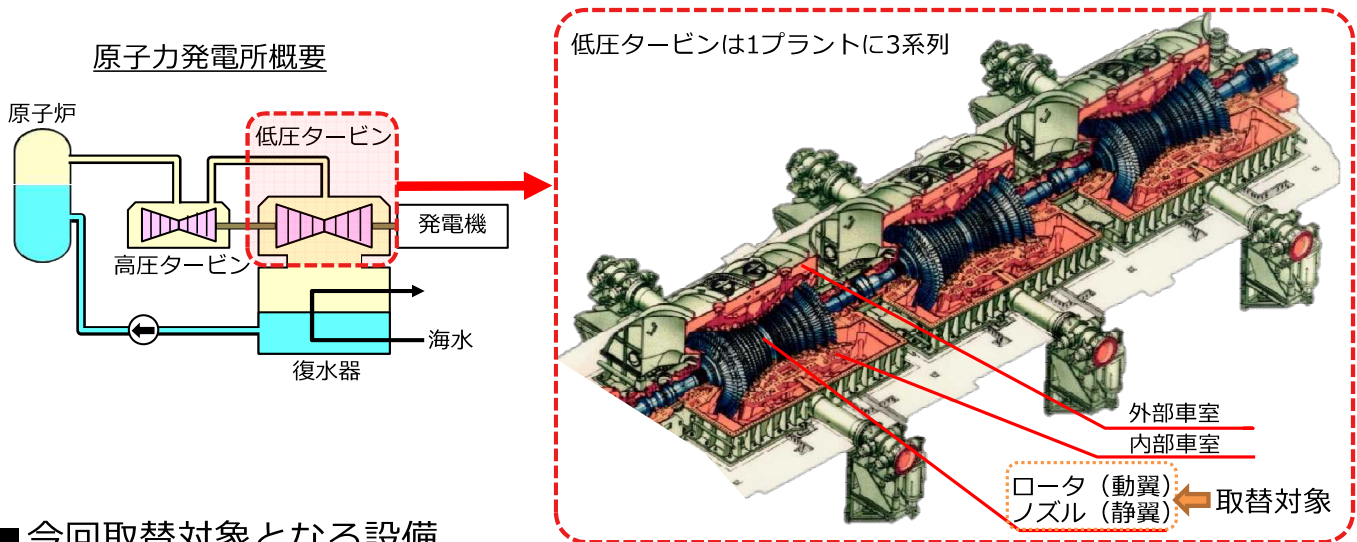
※2 プラント運転時間を考慮して設定。2008年以降のプラント運転時間としては約1.5年

- 設計改良したタービンでは、全ての動翼をカバーで束ねる全周群構造を採用することにより、振動を抑制するとともに動翼全体の剛性を向上。



(参考) 低圧タービン概要

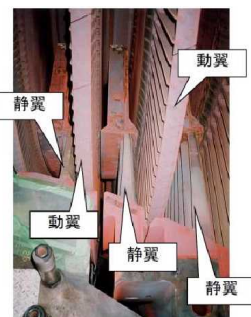
■タービン：蒸気の流れを回転に変え、発電機を回し電気を発生させる機器



■今回取替対象となる設備



動翼と静翼が交互に組み合わされる

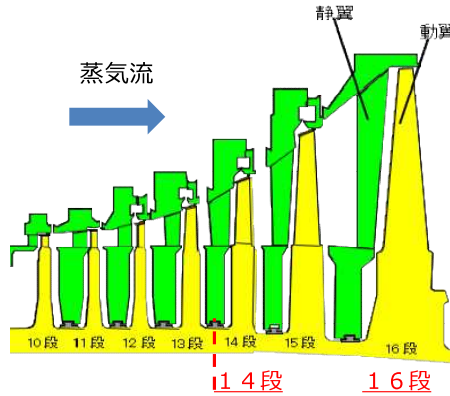


低圧タービン動翼の付根部は大きく二つの種類に分類される。

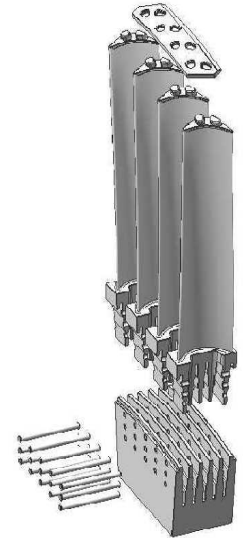
○10段～13段:鞍型

○14段～16段:フォーク型

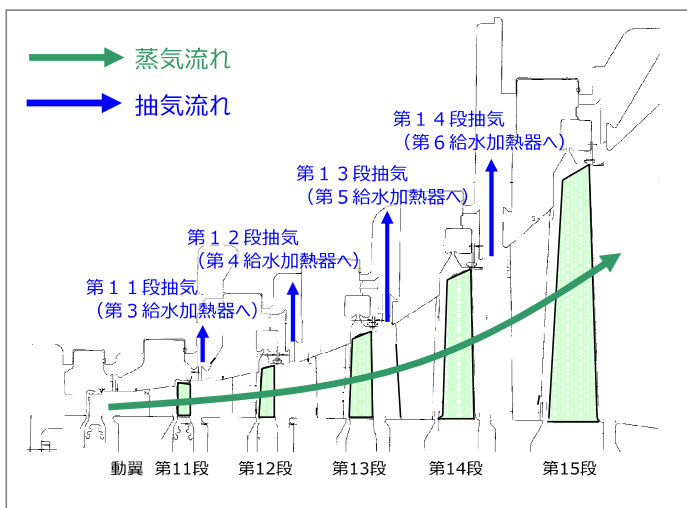
※損傷は確認されず



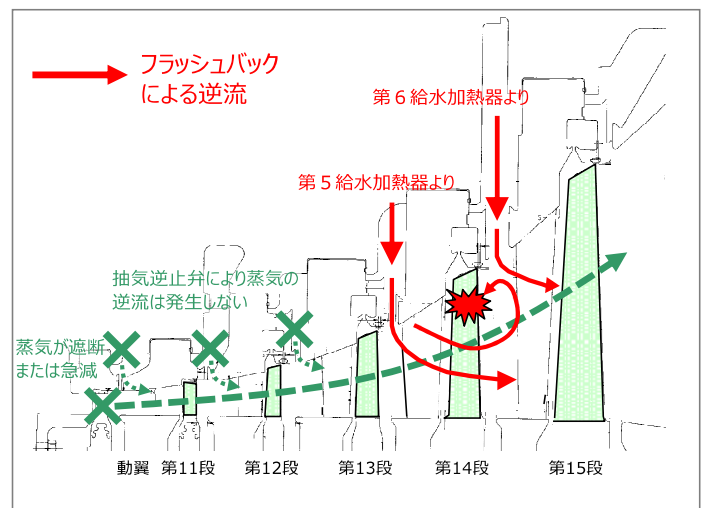
※14段、16段が損傷



(参考) フラッシュバック詳細



通常運転時の蒸気の流れ



フラッシュバック時の蒸気の流れ

フラッシュバックの挙動

- ① 蒸気量が急減または蒸気が遮断
- ② タービン内の圧力が低下
- ③ 給水加熱器の圧力が低下し、加熱器内で減圧沸騰が発生し、蒸気が高速で逆流する

プレス公表（運転保守状況）

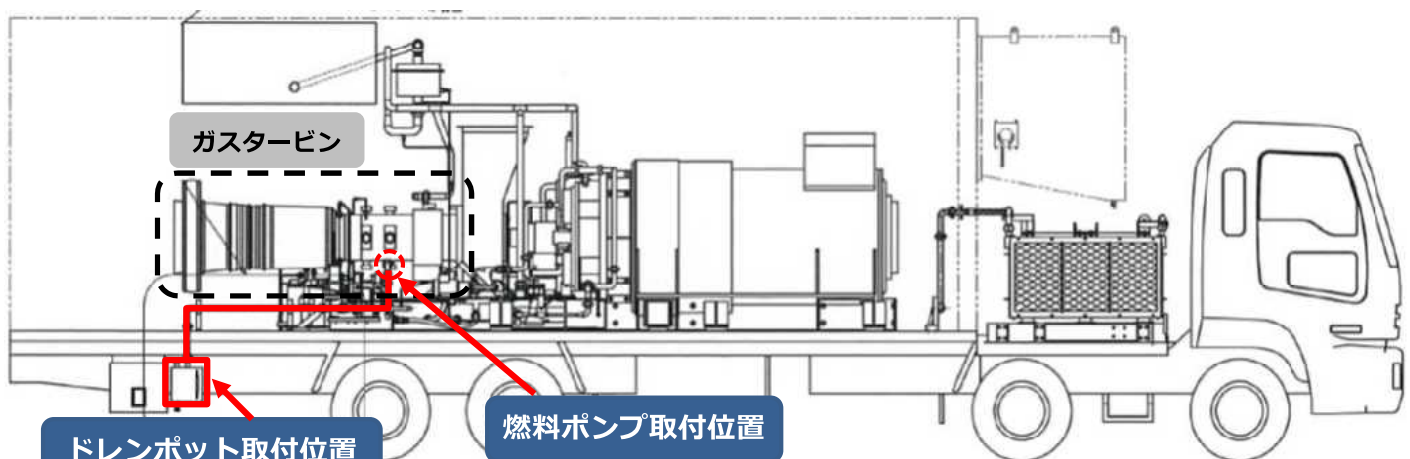
発生日	2021年5月12日		
号機	—	件名	7号機ガスタービン発電機車からの油漏れについて（区分:Ⅲ）
<p>【事象の発生】 2021年5月12日午前10時12分頃、ガスタービン発電機車が設置されているエリアにおいて、ガスタービン発電機車の燃料廃油受け（ドレンポット）*から油（軽油）がコンクリートの地面に滴下していることを当社社員が巡視中に確認しました。漏れ出た油の量は、約960ccと推定しており、その後、漏えい箇所には受け皿を設置し、油の滴下は停止しております。また、漏れた油については、拭き取りをおこなうとともに、中和剤での処理を行いました。なお、滴下した油については、側溝等への流入はなく、環境への影響はありません。</p> <p>*ガスタービン運転時に燃焼しきれずに燃え残った油を一時的に貯めておくもの。</p> <p>①【対応状況】 今後、ガスタービン発電機車から油が漏れた原因について調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。 (2021年5月12日にお知らせ済み)</p> <p>【原因】 ガスタービンに付属する燃料ポンプの分解調査を行った結果、燃料配管などの改造工事等でガスタービンを長期間停止したことにより、当該ポンプの軸受部の潤滑油が不足。これにより、ガスタービンの起動時に軸受部が摩耗し、ドレンポットに必要以上に潤滑油が滴下したことが原因と推定しました。なお、当該の燃料ポンプは、2021年10月に交換しました。</p> <p>【対策】 1か月に1回のガスタービン発電機車の確認運転と同じタイミングで、ドレンポットに必要以上に潤滑油が滴下していないか確認し、滴下している量が多い場合には、予備のポンプに交換いたします。なお、ガスタービンを長期間停止する場合には、燃料ポンプの軸受部の潤滑油が不足しないよう、1か月に1回燃料ポンプの確認運転を行うこととします。</p>			

【参考】ガスタービン発電機車ならびに燃料ポンプ 外観写真

〔ガスタービン発電機車〕



〔燃料ポンプ〕



プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年2月15日		
号機	—	件名	保安規定対象記録の未保存について（区分:Ⅲ）
<p>【事象の発生】 2022年2月10日、社内管理文書の確認を行っていたところ、2017年度分の力量評価記録[*]が、一部のグループにおいて保存されていないことが判明いたしました。力量評価記録は保安規定で保存期間が5年と定められており、2月14日、当該記録の未保存は保安規定の要求を満たしていないことを確認いたしました。 なお、2017年度の力量評価記録を踏まえて作成される2018年度の教育訓練計画は作成・保存されていることから、2017年度の力量評価記録は作成済みであったものと推定しております。</p> <p>[*]原子炉施設保安規定第120条に基づく、力量、教育・訓練及び他の措置について該当する記録。 主にメンバーの担当業務とその業務に関わる力量区分、業務教育（研修）項目の計画と実績が記載されている。</p>			
<p>② 【対応状況】 2014年度に発生した同様の不適合との関係も含めて、詳細調査を行い、その結果を踏まえて再発防止の徹底を図ってまいります。 （2022年2月15日にお知らせ済み）</p>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年2月16日		
号機	5	件名	非常用ガス処理系入口隔離弁の動作不良について（区分Ⅲ）
<p>【事象の発生】 2022年2月15日、5号機原子炉建屋4階（管理区域）の原子炉建屋最上階エリアにおいて、非常用ガス処理系（SGTS）[*]（A系）の入口隔離弁の電磁弁交換作業のため、当該弁を操作スイッチで操作したところ、動作不良（開せず）を確認しました。 同日、当該弁の制御部品（リレー）を交換し、動作不良が解消することを確認しております。 当該設備は、安全上重要な設備に該当しますが、燃料等の移動に関わる作業を実施していないことから、保安規定上の機能要求はありません。 なお、今回の不具合による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>[*]原子炉冷却材喪失事故等時に、原子炉建屋に漏出して来る放射性ヨウ素や、粒子状の放射性物質が建屋から直接大気へ放出されることを防ぐための系統。 保安規定において、当該設備は燃料等の移動に関わる作業を実施する際、A系とB系の2系列が動作可能であることが求められている。</p>			
<p>③ 【対応状況】 当該弁の動作不良は、リレーの交換により解消されたことから、リレー単体の不具合によるものと推定しております。 （2022年2月16日にお知らせ済み）</p>			
<p>【原因】 当該リレーについて、取り外した後に動作確認を実施したところ、動作に問題は確認されなかったことから、当該弁の動作不良は、リレー単体の一過性の不具合であると推定しております。</p>			
<p>【対策】 今後、リレーの異常等が確認された場合、速やかにリレーの交換を実施することで、同様な事象発生のリスク低減を図ってまいります。 なお、当該弁の動作確認については、これまでも定例試験で問題ないことを確認してきました。一方、今回の不適合が確認されたリレーについては、定期事業者検査後のプラント起動前に行う検査で機能を確認していたことから、プラントが長期停止している現状においては、この機能確認は実施していませんでした。今後、プラントの長期停止中においても、定期事業者検査後のプラント起動前に行うリレーの機能検査と同等の確認を実施するなど、リスク低減に向けた対応を検討してまいります。</p>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年2月9日		
号機	1	件名	熱交換器建屋エリア屋外照明用自動点滅器の火災について（区分Ⅰ）
<p>【事象の発生】 2022年1月18日に照明用電源のブレーカーが落ちていたことから、現場調査を実施しておりました。2月8日に1号機熱交換器建屋エリア（非管理区域）の屋外照明用の自動点滅器の外観にひび割れや変色を確認したため、取り外して自動点滅器の内部を調査したところ、焦げ跡を発見しました。これまで当該設備に発煙や異臭等は無く、ブレーカーが落ちた以降は通電をしていないことから、同日、一般回線にて公設消防に状況を報告したところ、2月9日に現場を確認する旨、ご回答をいただきました。2月9日、公設消防による現場確認の結果、自動点滅器のソケット部に焼損が確認されたため、11時10分に火災と判断されました。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。</p> <p style="text-align: right;">（2022年2月9日にお知らせ済み）</p>			
④	<p>【対応状況】 本事案の発生を受け、発電所構内の同様の屋外照明用自動点滅器（約800個）について、点検調査を2月14日から開始。</p> <p style="text-align: right;">（2022年2月24日にお知らせ済み）</p>		
<p>【点検状況】 同様の屋外照明用自動点滅器について、3月8日までに全数点検調査を行った結果、火災と判断されるものは確認されませんでした。</p>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年2月19日		
号機	7	件名	タービン建屋大物搬入口エリア電動シャッターのモーター給電ケーブルの火災について（区分Ⅰ）
<p>【事象の発生】 2022年2月14日にタービン建屋大物搬入口エリアの電動シャッターが動作しなかったことから、2月19日に当該の電動シャッターの点検を行ったところ、モーター給電ケーブルに焦げ跡を確認しました。当該設備に発煙や異臭等は無く、通電もしていないことから、同日、一般回線にて公設消防に連絡しました。公設消防による現場確認の結果、明らかな焼損が確認されたため、19時5分に火災と判断されました。なお、本件による外部への放射能の影響および、けが人の発生はありません。</p> <p style="text-align: right;">（2022年2月19日にお知らせ済み）</p>			
⑤	<p>【対応状況】 2月21日に公設消防の立ち合いのもと、当該焦げ跡を調査した結果、モーターのケーブル接続部に一部断線を確認しました。この部分から発熱し、ケーブルの被覆が焦げたものと推定しており、引き続き断線の原因について調査してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（2022年2月24日にお知らせ済み）</p> <p>本件を受け、各号機の大物搬入口エリアの電動シャッターの点検を2月25日から開始いたしました。</p>		

(1/2)

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (23 時 49 分現在、第 1 報) ~~続報~~ ~~最終報~~

2022年 3月 16日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、23時36分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	中越地方：震度5弱 詳細確認中				

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	燃料プール冷却系の状況				燃料プールの 溢水・漏えい	
		号機名	地震発生前	地震発生後			
1	全号機 プラント停止中	1	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
2		2	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
3		3	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
4		4	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
5		5	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
6		6	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り
7		7	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)		確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

(2/2)

地震の加速度の最大値	
確認中	4号機 原子炉建屋基礎マット上端 6.0 ガル (水平)・上下)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
2	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
3	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
4	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
5	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
6	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間
7	正常・異常	正常・異常	—	—	約—時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
1	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
2	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
3	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
4	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
5	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
6	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [
7	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : [

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値

原子炉建屋 最地下階床 水平120ガル、上下100ガル

原子炉建屋 中間階床 水平185ガル

(6) その他特記事項

・23時48分時点で人が情報なし

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	(無し)・有り : [津波注意報・津波警報]

以上

(お知らせ)
地震発生後のプラント状況について (0 時 18 分現在、第 2 報) 続報 ~~最終報~~

2022年 3月 17日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

昨日、23時36分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	3	3	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況		燃料プールの 溢水・漏えい	
			地震発生前	地震発生後		
1	全号機 プラント停止中	1	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
2		2	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
3		3	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
4		4	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
5		5	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
6		6	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り
7		7	運転 停止 確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	4 号機 原子炉建屋基礎マット上端 6.0 ガル (水平) ・ 上下)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
2	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
3	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
4	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
5	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
6	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間
7	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
2	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
3	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
4	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
5	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
6	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
7	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値

原子炉建屋 最地下階床 水平120ガル、上下100ガル

原子炉建屋 中間階床 水平185ガル

(6) その他特記事項

- ・ 17日 0時17分時点で人が人の情報なし
- ・ 16日23時41分 1～7号機中央制御室の計器及び警報点検開始
- ・ 17日 0時10分 異常なし確認

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	(無し) ・ 有り : [津波注意報 ・ 津波警報]

以上

(1/2)

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (1 時 21 分現在、第 3 報) ~~続報~~ 最終報

2022年 3月 17日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

昨日、23時36分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	3	3	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況				燃料プールの 溢水・漏えい	
			地震発生前	地震発生後				
1	全号機 プラント停止中	1	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
2		2	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
3		3	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
4		4	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
5		5	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
6		6	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	
7		7	運転 停止	確認中	運転 停止 (時 分)	確認中	無し 有り	

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	4 号機 原子炉建屋基礎マット上端 6.0 ガル (水平) ・ 上下)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
2	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
3	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
4	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
5	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
6	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間
7	正常 ・ 異常	正常 ・ 異常	—	—	約—時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
1	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
2	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
3	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
4	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
5	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
6	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [
7	継続中	正常 ・ 異常	確認中	無し ・ 有り : [

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値

原子炉建屋 最地下階床 水平120ガル、上下100ガル

原子炉建屋 中間階床 水平185ガル

(6) その他特記事項

- ・第二報以降、約1時間が経過しましたが、発電所状況に異常はありません。
- ・本通報を以て最終報といたします。

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	(無し) ・ 有り : [津波注意報 ・ 津波警報]

以上

2022 年度使用済燃料等の輸送計画について

2022 年 3 月 29 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2022 年度使用済燃料等の輸送計画について、以下の通り計画しておりますので、お知らせいたします。

1. 使用済燃料輸送計画

輸送予定はありません。

2. 低レベル放射性廃棄物輸送計画

柏崎刈羽原子力発電所に保管している低レベル放射性廃棄物について、日本原燃(低レベル放射性廃棄物埋設センター) に輸送します。なお、計画は変更になる場合があります。

輸送時期	輸送数量	輸送容器型式・個数	搬出先	搬出元
3 月	648 本	LLW - 2 型 81 個	日本原燃株式会社 (青森県六ヶ所村)	柏崎刈羽 原子力発電所

3. 新燃料輸送計画

輸送予定はありません。

※ なお、期中に変更があった場合は、改めてお知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
原子力・立地本部 広報グループ 03-6373-1111 (代表)

柏崎刈羽原子力発電所における使用済燃料の2022年度号機間輸送計画について

2022年3月29日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所の使用済燃料プールで保管している使用済燃料の号機間輸送計画は、未定となっておりますのでお知らせいたします。

なお、期中に変更があった場合は、改めてお知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

執行役人事

2022年3月30日

東京電力ホールディングス株式会社

本日、取締役会の決議により、下記のとおり執行役の人事を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 新任常務執行役

氏名	現職
福田 俊彦	原子力損害賠償・廃炉等支援機構上席執行役員廃炉戦略企画室長

(2022年4月1日付)

2. 執行役の職務分掌の一部変更

氏名		事務委嘱	業務分担
常務執行役 稲垣 武之	新	原子力・立地本部柏崎刈羽原子力発電所長兼原子力改革担当兼新潟本部	
	旧	原子力・立地本部長兼原子力・立地本部柏崎刈羽原子力発電所長兼原子力改革特別タスクフォース長代理兼同事務局長兼原子力改革担当兼新潟本部	
常務執行役 福田 俊彦	新	原子力・立地本部長兼原子力改革特別タスクフォース長代理兼同事務局長	

(2022年4月1日付)

以上

<参考>執行役の体制（2022年4月1日付）

	氏名	事務委嘱	業務分担
代表執行役 社長	*小早川 智明	原子力改革特別タスクフォース長	業務全般、新経営理念プロジェクト本部事務局、浜通り廃炉産業プロジェクト室
代表執行役 副社長	*文挾 誠一		業務全般
	*守谷 誠二	最高リスク管理責任者兼社長補佐	業務全般、内部監査室
	山口 裕之 (昇任)	最高財務責任者	業務全般、企画室（収支・財務領域）、経理室、ビジネスソリューション・カンパニー
執行役 副社長	佐伯 光司	最高労務人事責任者	秘書室、人財統括プロジェクト室、カイゼン推進室、組織・労務人事室、総務・法務室
	児島 力 (新任)	最高イノベーション責任者	投資統括室、海外事業室
常務執行役	関 知道	最高情報責任者兼最高情報セキュリティ責任者	DXプロジェクト推進室、システム統括室、技術統括室、土木・建築統括室、セキュリティ統括室、経営技術戦略研究所
	山本 竜太郎	防災・安全統括	原子力安全監視室、安全推進室
	長崎 桃子	最高マーケティング責任者兼ESG担当兼チーフ・スポークスパーソン兼エリアエネルギーイノベーション事業室長	EV推進室、蓄電池ビジネス室、ESG推進室、広報室
	酒井 大輔 (新任)	経営企画担当（共同）兼事業再構築・アライアンス担当	企画室、系統広域連系推進室、グループ事業管理室、JERA管理室
	小野 明	福島第一廃炉推進カンパニー・プレジデント兼廃炉・汚染水対策最高責任者	
	高原 一嘉	福島復興本社代表兼福島本部長兼原子力・立地本部副本部長	
	橘田 昌哉	新潟本社代表兼新潟本部長兼原子力・立地本部副本部長	
	宗 一誠	原子力・立地本部青森事業本部長兼原子力・立地本部副本部長	
	稲垣 武之	原子力・立地本部柏崎刈羽原子力発電所長兼原子力改革担当兼新潟本部	
	福田 俊彦 (新任)	原子力・立地本部長兼原子力改革特別タスクフォース長代理兼同事務局長	
執行役	*吉野 栄洋	会長補佐兼社長補佐兼経営企画担当（共同）	

*は取締役を兼務

以上

2022年3月30日
東京電力ホールディングス株式会社

人 事 通 知

日 付	内 容	氏 名
2022. 4. 1	<p>[執行役員任用]</p> <p>東京電力ホールディングス株式会社 執行役員原子力・立地本部柏崎刈羽原子力発電所所長補佐 兼原子力改革担当代理兼新潟本部</p>	水谷 良亮

以 上

原子力改革の進捗状況について

2022年3月30日

東京電力ホールディングス株式会社

- 柏崎刈羽原子力発電所における核物質防護事案については、2021年9月22日、「改善措置報告書」を原子力規制委員会に提出し、現在、その再発防止措置を順次対応
- また、安全対策工事の一部未完了については、引き続き、貫通部の総点検を実施中
- 取締役会からは、核物質防護事案の再発防止措置の確実な実施と共に、以下の3点について具体化を図るよう指示（2021年9月）
 - ① **本社機能の新潟への移転**
 - ② **外部人財登用**
 - ③ **リソースの投入による本社・現場一体となった実効性の確保**
- 本日は、その進捗状況について原子力改革の内容とともにご説明



1. 地域からの信頼と原子力改革

1

- 地域の方々から信頼される上で、喫緊の課題である一連の不適切事案への対応を完遂させることに加え、発電所内の一体感を醸成し「**信頼のスタートライン**」に立つことが必要
- 取締役会からの指示事項への対応や地元との連携を強化することなどを通し、「**信頼される発電所**」を目指す

原子力改革項目 (第四次総合特別事業計画 における改革項目)		喫緊の課題への対応 (信頼のスタートライン)	信頼される発電所へ	
1	本社・サイトの一体的な運営	●	●	⇒ 本社機能移転 (2スライド)
2	プロジェクト体制構築・システム導入	●		⇒ システム化対応 (10スライド)
3	核物質防護の強化・リソース拡充等	●		⇒ 36項目対応 (4～8スライド)
4	人事配置見直しや外部専門家活用	●	●	⇒ 外部人財登用 (3スライド)
5	職場の活力向上・職場環境改善	●	●	⇒ 一体感醸成 (9スライド)

2. 本社機能の移転【本社・サイトの一体的な運営】

- 柏崎刈羽原子力発電所に必要な本社機能を**発電所近傍に配置し、地域の皆さまの声に直接触れる機会を増やし**、発電所運営に活用
- 2021年11月より、本部長兼所長をサポートする**本社スタッフ16名を柏崎刈羽原子力発電所に配置**
- 当面（2022年4月以降）、**「一連の不適切事案」において認識した弱み**（リスク認識力・現場実態把握力・組織としての是正力の弱さや、組織間・企業との連携不足）に対し、**本社・発電所の一体運営を強化するために、品質・安全、設備診断等の担当要員を中心に柏崎市に配置（累計70名程度）**
- **柏崎刈羽原子力発電所に必要な本社機能として将来的に累計300名程度の移転を計画**（福島第一・福島第二原子力発電所、東通原子力建設所への影響も踏まえ諸課題を精査し、2022年9月末までに規模・時期等も含めお知らせ）

	2021年11月	当面（2022年4月以降）
移転者数（累計）	16名	70名程度
執務場所	発電所内	発電所内、事務所（柏崎市内）
移転機能	改革推進、事業分析、原価分析、育成等	品質・安全、工程管理、設備診断等

執務・住環境の確保と新たな防災拠点が必要

↓
本社所属約770名のうち、柏崎刈羽原子力発電所に関連する要員として、将来的に累計300名程度の移転を計画

→
一連の不適切事案において認識した弱みに対し、本社・発電所の一体運営を強化

3. 各分野に精通した外部人財の招へい

- 新たに、当社OBの福田氏を原子力・立地本部長に任用。原子力損害賠償・廃炉等支援機構に在籍した経験から、**当社の問題を客観的に把握し、原子力部門全体を総合的に指揮**
- 発電所 所長補佐として中部電力OBの水谷氏を招へい。**発電所長への助言や発電所員への指示など所長をサポート**いただくとともに、所員と一丸となり**発電所の意識改革を推進**
- 自衛隊・警察・他電力OB・消防などの専門家を2021年4月より随時登用し、**核物質防護の機能強化や発電所の安全性を向上**
- 今後も、**特定の出身機関や会社に限定せず**、豊富な経験を有する外部人財の**積極的な採用を継続**

<原子力・立地本部長>

氏名	発令日	役割
(ふくだ としひこ) 福田 俊彦	2022年4月1日	➤ 原子力部門全体の総合指揮

<柏崎刈羽原子力発電所 所長補佐>

氏名	発令日	役割
(みずたに りょうすけ) 水谷 良亮	2022年4月1日	➤ 意識改革、仕事のやり方・制度面の改革、技術面でのサポート 等

<各分野専門家>

出身機関	人数	勤務地	担当する業務	役割
自衛隊	2人	本社	核物質防護	➤ 防護措置の実施に係る指導・助言による、セキュリティ現場のリスク認識・実態把握力と組織の是正力の強化
警察	5人	柏崎刈羽 原子力発電所		
他電力OB	1人			
消防	1人		安全対策工事	➤ 消防計画の策定、実効的な訓練による火災対策の強化

- 経営層と現場所員との対話等、**核物質防護事案に対する「改善措置計画」36項目の対策を順次実施、運用中**（スライド5参照）
- **さらなる設備面の信頼性向上が重要であり、順次設備更新等を着実に進め、持続的な核セキュリティ向上を図っていく**（2022年6月目途に設備更新に係る核物質防護規定変更認可申請を目指す）

【主な改善措置実施・運用状況】

＜設備更新・基本方針の見直し等＞

- ✓ 改善措置報告書で示した問題点に対して、追加の生体認証装置の導入や核セキュリティ文化醸成の基本方針見直し、核物質防護部門の組織の見直し（新組織設置は5月以降）等を展開

＜経営層等による現場実態の把握＞

- ✓ 経営層をはじめ発電所長ら幹部等による現場視察。所員、協力企業との対話を通じた課題抽出（スライド6,7参照）

＜人的リソースの拡充＞

- ✓ **約30人の人的リソースを順次増員**（核物質防護事案発生前比）。また、核物質防護に関する**専門家として警察、自衛隊出身者、他電力OB（計8人※）を登用**。経験に基づくセキュリティ現場のリスク認識・実態把握力と組織の是正力を強化
※スライド3の自衛隊、警察、他電力OBの合計

＜外部レビュー＞

- ✓ 当社の核物質防護の取組について、外部の専門家による核セキュリティに対するレビューを実施、評価いただく（スライド6参照）

【今後の予定】

- ✓ 立入制限区域見直しや侵入検知器の改良・取替、出入管理・監視システムの更新、人・車両照合の機械化等、**設備対策へさらなるリソース投入、200億円超規模の設備予算（3か年）を確保**（スライド8参照）

（参考）核物質防護事案 改善措置計画36項目

- 長期案件2項目（⑳, ㉑）を除き、2022年9月までに運用開始

No.	改善措置項目	No.	改善措置項目
①	核物質防護ガバナンスの再構築	⑲	設備保守体制の整備
②	モニタリングプロセスの改善	⑳	変更管理プロセスの見直し,教育プログラム作成
③	核物質防護教育強化(経営層他)	㉑	保全計画(点検計画,取替計画)の整備
④	核物質防護教育の強化(防護部門)	㉒	代替措置に関するルールの明確化
⑤	核物質防護教育の強化	㉓	機能復旧の復旧期間目途の明確化
⑥	核セキュリティ文化醸成方針見直し	㉔	基本マニュアル等文書整備
⑦	トップメッセージの発信・浸透活動	㉕	核物質防護部門要員の強化他
⑧	車座ミーティング／経営層対話会	㉖	セキュリティ分野機能／責任等見直し
⑨	管理者による現地現物での業務把握向上	㉗	不適合案件の公表方針策定
⑩	核セキュリティ等に関わる声の吸い上げ	㉘	他電力相互レビューの継続
⑪	核セキュリティの理解・改善を把握する取組	㉙	防護部門と所内のコミュニケーション改善
⑫	運転員／見張人の適格性確認	⑳	立入制限区域の見直し
⑬	現場の生体認証再登録時の人定確認	㉑	侵入検知装置の迷惑警報対策
⑭	追加の生体認証装置の導入	㉒	現場実態に即したマニュアルへの改善
⑮	見張人への抜き打ち訓練	㉓	柏崎刈羽のパーパス(存在意義)の作成
⑯	各種ゲートの渋滞緩和	㉔	リスクマネジメントの充実・強化
⑰	防護本部をサポートする体制の強化	㉕	福島第一原子力発電所事故に関する研修
⑱	IDカードの厳格管理	㉖	自己評価／第三者評価

- : 当社として既に対策を整備し、現在、運用中の措置
- : 現在、対応を検討・準備中であり、2022年9月までに運用を開始する措置
- : プロジェクト体制を構築し、対応を検討している措置

- 改善措置計画の一環として、**経営層自らが現場の悩みや問題を把握し、現場と一体となって改善を図るための取組を継続的に実施**（会長・社長も核物質防護業務を担う所員との対話を実施）
- **「核セキュリティ専門家評価委員会」を設置**。今後、当社の核セキュリティに関わる取組やパフォーマンス等について、**社外専門家の視点から半期ごとに評価予定**



小早川社長と所員との対話



核セキュリティ専門家評価委員会

核セキュリティ専門家評価委員会

(敬称略)

氏名	専門	所属
板橋 功	核セキュリティ、危機管理	公益財団法人公共政策調査会研究センター長
岩本 友則	保障措置、核セキュリティ	日本核物質管理学会 事務局長 日本原燃株式会社 フェロー
黒木 慶英	セキュリティ全般	全国警備業協会 専務理事
野呂 尚子	核物質防護、核セキュリティ文化	JAEA 核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 能力構築国際支援室 技術副主幹

4-2. 核物質防護事案への対応【これまでの改善措置活動②】

- 原因分析で抽出された管理職の現場実態把握の弱さを是正するため、**発電所長ら幹部が積極的に現場視察や対話により課題を抽出**、先頭に立ち改善措置活動を推進
- **設備対策では、改善措置計画の「⑭追加の生体認証装置の導入」や「⑰設備保守体制の整備」等、短期の取組は既に仕組みを構築して運用中**

<現場所員との対話で寄せられた声に基づく改善措置の一例>

対話

- 冬を迎えるにあたり、核物質防護設備の故障が発生した場合に備えて準備を整えたい
- 社員警備員だけでは冬場の荒天時の迷惑警報※が不安

※侵入検知器は正常であるものの環境整備等が不十分のため、本来ならば必要のない警報を出すこと

対応

- 核物質防護部門の社員警備員に加えて事務所で勤務する社員、協力企業警備員を含めた体制を整備
- 荒天時に影響がでる防護設備について、対策を施したものに取替を順次実施中

結果

- 体制面の整備や設備の取替を順次実施し、迷惑警報を最大9割削減（昨年度比 気象条件による影響も含む）
- 対策後、社員警備員からは、「今までの冬とは格段に対応が違った」といった意見有り



発電所長と所員との対話会

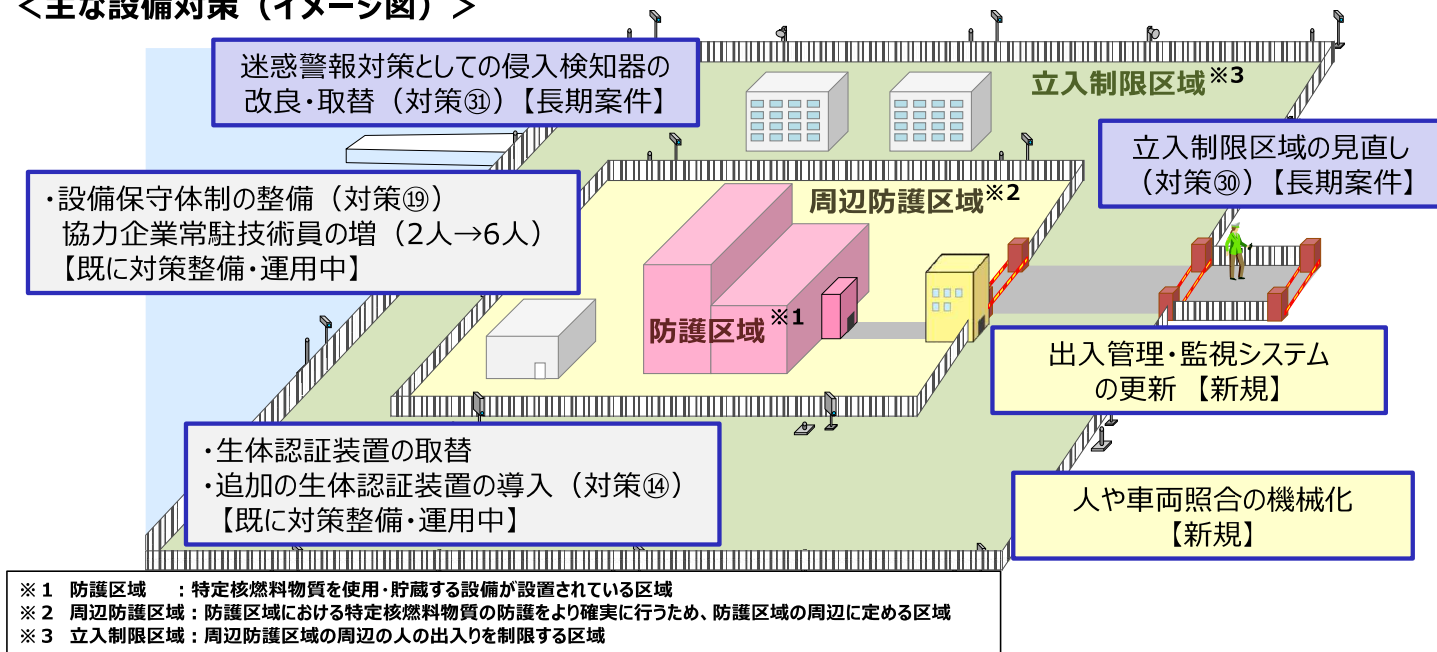


発電所幹部らによる現場実態把握



- **改善措置計画の長期案件「③⑩立入制限区域の見直し」及び「③⑪迷惑警報対策」はプロジェクト体制で継続検討中。** 侵入検知器の改良や取替等により迷惑警報の削減を進める
- 改善措置計画以外についても、「**出入管理・監視システムの更新**」や「**人や車両照合の機械化**」など、**警備員の負荷を軽減させ、パフォーマンス向上を図る最新技術を導入予定**
- 核物質防護に関わる設備全般の改良・更新等を進めるとともに、**今後も現状の計画や対策で十分と慢心することなく、必要な対策を立案・実行していく**

<主な設備対策（イメージ図）>



5. 発電所で働く人々の一体感醸成【職場の活力向上・職場環境改善】

- 現在、経営層と所員による対話活動（実績:131回）や若手所員を中心に所員自らが「いい発電所」にするための活動を展開
- こういった活動における所員からの意見を発電所幹部が受け止め、「**発電所の志（仮称:柏崎刈羽パーパス）**」を作成（2022年5月所長会見にて公表予定）
 - ✓ 発電所で働く全ての人々にとっての信念・支柱として基本的なふるまいとともに整理
 - ✓ 2022年9月末にかけて理解・共感活動を展開し、発電所で働く全ての人々の実践により、地域の皆さまから信頼される発電所を実現する
- なお、一体感醸成をより強力に推進するため、**中部電力OBの水谷氏を所長補佐として登用**。今後、内部コミュニケーションや所員のモチベーションの改善を担い、所長とともに原子力改革の達成に尽力

<経営層による対話活動>



<いい発電所にするための活動>



所員意見反映

「発電所の志」
（仮称:柏崎刈羽パーパス）
（2022年5月公表予定）

- ✓ 働く人々誰もが理解でき、支柱となる信念を整理

発電所で働く全ての人々への理解・共感活動を展開（2022年9月末にかけて）

発電所で働く全ての人々が「志」を実践

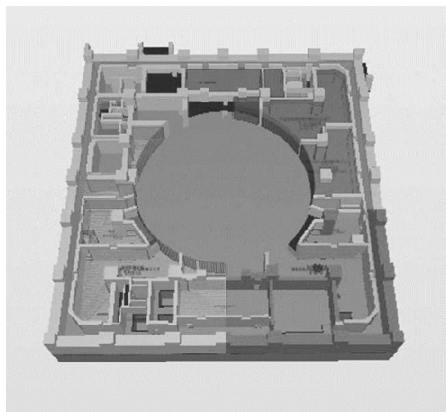

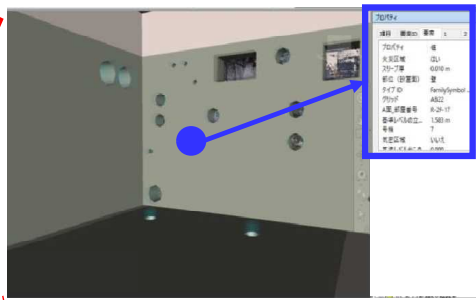
「志」実践を積み重ね
信頼される発電所に

例えば・・・

- ✓ 人身災害・火災など、ご不安につながる案件を減少。発生の際も、経営を含めた即座の社内共有により、迅速に地域へお伝え
- ✓ 所員が地域活動に参加し、地域のお声に直接向き合い、地域災害時の貢献等も検討

- 貫通部の総点検を「**点 = 個々の貫通部**」「**面 = 壁単位**」「**空間 = 部屋単位**」の3ステップで厳格に確認する中で、得られた現場情報の収集・整理を図り、3D画像等を用いた建物・設備情報のシステム化にも着手（**3D画像等による現場属性情報の一元管理**）
- 本システムは、火災・浸水防護等に係る貫通部の将来的な保全にも活用

<建物・設備情報のシステム化（BIM：Building Information Modeling）イメージ>

<p>■ 壁・床モデル作成</p> <ul style="list-style-type: none">• 建屋の壁・床を3Dで可視化	<p>■ 火災・浸水防護区域等の情報入力</p> <ul style="list-style-type: none">• 3D化された壁・床の火災・浸水防護区域等の情報を入力し、可視化	<p>■ 貫通部や属性情報の付与</p> <ul style="list-style-type: none">• 壁・床に設置されている貫通部の位置や数を可視化
		<p>貫通部に関する情報を表示</p>  <p>※拡大イメージ</p>

日本フェンオール株式会社による火災感知器および中継器に関する
不正行為について（当社設備への影響）

2022年3月31日

東京電力ホールディングス株式会社

日本フェンオール株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：田原 仁志、以下「フェンオール」）は、2013年9月～2020年10月に製造した火災感知器および通信用の中継器（計9,633個）について、日本消防検定協会による型式承認取得時に登録した部品と異なる部品を使用して製造し、不正な手段で型式適合検定に合格させていたことを公表しております。

（フェンオール公表内容：<https://www.fenwal.co.jp/archives/5213>）

フェンオールからの報告をもとに、当社としても調査をした結果、当該火災感知器と中継器は、当社（各基幹事業会社含む）において、福島第一原子力発電所で計430個（感知器：79個、中継器：351個）、柏崎刈羽原子力発電所で計3,595個（感知器：1,466個、中継器：2,129個）設置されていることを確認いたしました。

当社原子力発電所では、「自動火災報知設備（消防法により検定品での設置が求められている）」と「新規制火災防護設備（新規制基準により消防法の技術基準同等での設置が求められている）」の2種類の火災感知器および中継器を設置しております。

フェンオールが性能検証を行った結果、両設備の機能や性能については、当該設備に異常が発生した場合であっても、自動的に異常が通知される機能が備わっていることから、機能・性能上の問題はなく、原子力発電所の安全性への影響がないことの報告を受けております。当社は、フェンオールに対して、早急な原因究明と対策の報告を求めており、今後、原子力発電所の品質をより向上させる取り組みを検討してまいります。

当社といたしましては、原子力発電所という、高い安全性が求められる施設において、フェンオールが不正を行った設備を納入していたことは大変遺憾であり、今後、フェンオールへの厳正な対処を検討してまいります。

以上

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月4日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月3日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月5日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月4日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月6日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	長岡市	当社社員	・3月4日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	小千谷市	協力企業	・3月8日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月11日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	柏崎市	当社社員	・3月9日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月12日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに2名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	刈羽村	協力企業	・3月11日陽性判明
2	30代	女性	柏崎市	協力企業	・3月11日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月14日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	柏崎市	当社社員	・3月12日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月16日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	柏崎市	当社社員	・3月15日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月17日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	当社社員	・3月16日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月18日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月17日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月20日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	柏崎市	当社社員	・3月19日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月21日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに2名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月20日陽性判明
2	20代	女性	柏崎市	協力企業	・3月20日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月24日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに1名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	出雲崎町	当社社員	・3月22日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月26日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに3名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	60代	男性	柏崎市	協力企業	・3月25日陽性判明
2	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月25日陽性判明
3	30代	男性	長岡市	協力企業	・3月25日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月27日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに8名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	上越市	協力企業	・3月25日陽性判明
2	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
4	30代	男性	見附市	協力企業	・3月26日陽性判明
5	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
6	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
7	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
8	50代	男性	柏崎市※	協力企業	・3月26日陽性判明 ※県外の自宅にて療養中

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月28日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに4名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
2	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月26日陽性判明
4	60代	男性	柏崎市	当社社員	・3月27日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月29日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに3名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明
2	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月30日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに8名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	十日町市	協力企業	・3月28日陽性判明
2	30代	男性	長岡市	協力企業	・3月28日陽性判明
3	20代	男性	刈羽村	協力企業	・3月28日陽性判明
4	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明
5	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明
6	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明
7	20代	男性	柏崎市	当社社員	・3月28日陽性判明
8	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月28日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年3月31日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに17名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
2	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
4	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
5	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
6	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
7	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
8	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
9	60代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
10	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
11	40代	男性	上越市	協力企業	・3月29日陽性判明
12	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
13	60代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
14	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
15	20代	女性	刈羽村	協力企業	・3月29日陽性判明
16	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明
17	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月29日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月1日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに8名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	女性	柏崎市	当社社員	・3月30日陽性判明
2	60代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
4	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
5	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
6	30代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
7	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明
8	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月30日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月2日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに7名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	十日町市	協力企業	・3月31日陽性判明
2	50代	男性	柏崎市	協力企業	・3月31日陽性判明
3	40代	男性	刈羽村	協力企業	・3月31日陽性判明
4	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月31日陽性判明
5	40代	男性	柏崎市	協力企業	・3月31日陽性判明
6	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月31日陽性判明
7	40代	男性	十日町市	協力企業	・3月31日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに5名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	柏崎市	協力企業	・3月31日陽性判明
2	50代	女性	柏崎市	協力企業	・4月1日陽性判明
3	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月1日陽性判明
4	60代	女性	柏崎市	協力企業	・4月1日陽性判明
5	30代	女性	刈羽村	協力企業	・4月1日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月4日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに2名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	当社社員	・4月2日陽性判明
2	30代	男性	刈羽村	協力企業	・4月2日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月5日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに4名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月3日陽性判明
2	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月3日陽性判明
3	50代	男性	上越市	協力企業	・4月3日陽性判明
4	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月1日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月6日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに8名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月3日陽性判明
2	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
3	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
4	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
5	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
6	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
7	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
8	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月7日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに11名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
2	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月4日陽性判明
3	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
4	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
5	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
6	40代	男性	長岡市	協力企業	・4月5日陽性判明
7	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
8	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
9	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
10	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月5日陽性判明
11	20代	男性	出雲崎町	協力企業	・4月5日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに6名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	20代	男性	刈羽村	協力企業	・4月5日陽性判明
2	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月6日陽性判明
3	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月6日陽性判明
4	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月6日陽性判明
5	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月6日陽性判明
6	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月6日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに15名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	40代	男性	長岡市	協力企業	・4月6日陽性判明
2	20代	男性	柏崎市	当社社員	・4月7日陽性判明
3	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
4	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
5	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
6	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
7	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
8	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
9	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
10	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
11	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
12	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
13	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月7日陽性判明
14	30代	男性	新潟市	協力企業	・4月7日陽性判明
15	50代	男性	出雲崎町	協力企業	・4月7日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月10日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに19名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
2	20代	女性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
3	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
4	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
5	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
6	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
7	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
8	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
9	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
10	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
11	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
12	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
13	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
14	20代	男性	長岡市	協力企業	・4月8日陽性判明
15	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
16	40代	女性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
17	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
18	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
19	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月11日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに14名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
2	60代	女性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
3	50代	女性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
4	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月8日陽性判明
5	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
6	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
7	70代	女性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
8	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
9	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
10	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
11	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
12	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
13	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
14	40代	女性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月12日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに9名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	50代	男性	柏崎市	当社社員	・4月9日陽性判明
2	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
3	20代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
4	40代	女性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
5	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月9日陽性判明
6	20代	男性	刈羽村	協力企業	・4月9日陽性判明
7	20代	男性	長岡市	協力企業	・4月10日陽性判明
8	30代	男性	長岡市	協力企業	・4月10日陽性判明
9	50代	男性	柏崎市	協力企業	・4月10日陽性判明

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

(お知らせ)

長岡市・十日町市・見附市・出雲崎町における
「東京電力コミュニケーションブース」の開設について

2022年4月5日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所における一連の不適切事案を踏まえた原子力改革として「本社機能の一部移転」、「外部専門家の登用」、「核物質防護事案への対応」などの取り組みを進めております。

これらの取り組みに対する進捗状況を新潟県内の皆さま一人ひとりと直接お会いし、ご説明させていただくとともに、ご意見を拝聴し、その声を原子力改革へ活かすため、以下の通り「東京電力コミュニケーションブース」を開設いたします。

<長岡市>

- ・期間：2022年4月8日（金）から4月10日（日）
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・場所：ハイブ長岡 2階 交流サロン 長岡市千秋3丁目315-11

<十日町市>

- ・期間：2022年4月15日（金）から4月17日（日）
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・場所：リオン・ドール十日町店 ファッションアイ横 特設会場 十日町市旭町161

<見附市>

- ・期間：2022年4月22日（金）から4月24日（日）
- ・時間：10時00分～16時00分 ※24日（日）は10時00分～12時00分
- ・場所：ネーブルみつけ 多目的広場 見附市学校町1-16-15

<出雲崎町>

- ・期間：2022年4月23日（土）から4月24日（日）
- ・時間：10時30分～15時30分
- ・場所：子は宝多世代交流館 きらり 三島郡出雲崎町大字米田395

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に、ご協力をお願いいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

広報活動の取り組みについて (4月活動報告)

2022年4月13日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

TEPCO

■ 取り組み事項

TEPCO

取り組み内容

6号機大物搬入建屋における杭損傷に関してのその後の広報活動について

いただいた声

- 杭の損傷と聞くと一般的にはすごく心配です。問題ないと納得できるよう十分な説明が必要です。
- 6号機の杭損傷について、他の建物は本当に大丈夫なのですか。
- 6号機以外の発電所の杭も、手抜きせずに全て点検して欲しい。

具体的事項

6号機の大物搬入建屋の杭損傷について、2021年11月2日にお知らせいたしました。また、損傷原因と今後の対応についても2022年2月24日に公表いたしましたが、地域の皆さまにご不安やご心配をおかけしていることから、損傷原因および今後の対応について、さまざまなかたちでお知らせをいたしました。

当社ホームページへの掲載

- ・ 動画解説 (3月9日)
- ・ NEWSアトム臨時号 (3月9日)

広報誌の発行

- ・ NEWSアトム臨時号 (3月13日)
- ・ 東京電力通信 (3月19日)

柏崎刈羽原子力発電所における新型コロナウイルス感染症患者の概要

2022年4月13日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所において、新たに10名の新型コロナウイルス感染症患者が確認されましたので、以下の通りお知らせいたします。

今後、保健所の指導に基づき、適切に対応してまいります。

<新型コロナウイルス感染症患者の概要>

No.	年代	性別	居住地	所属	備考
1	30代	男性	刈羽村	協力企業	・4月10日陽性判明
2	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月10日陽性判明
3	40代	男性	長岡市	協力企業	・4月10日陽性判明
4	40代	男性	刈羽村	協力企業	・4月11日陽性判明
5	60代	男性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明
6	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明
7	30代	男性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明
8	50代	女性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明
9	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明
10	40代	男性	柏崎市	協力企業	・4月11日陽性判明

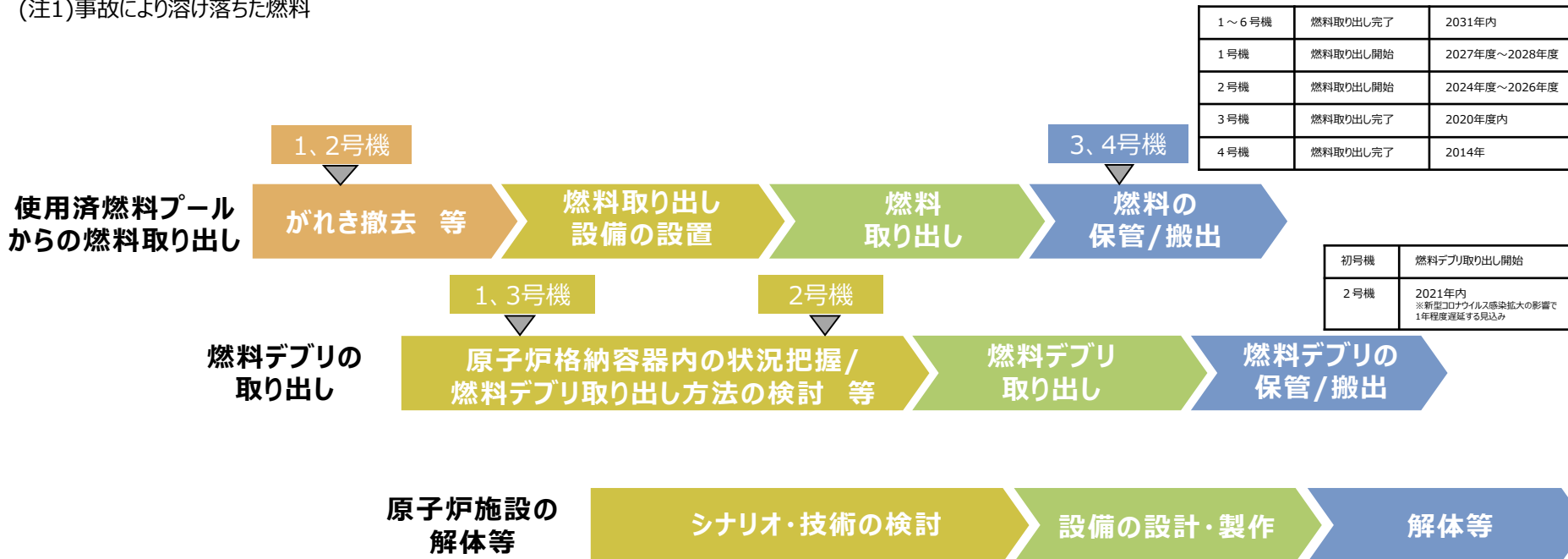
以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

「廃炉」の主な作業項目と作業ステップ

使用済燃料プールからの燃料取り出しは、2014年12月に4号機が完了し、2021年2月28日に3号機が完了しました。引き続き、1、2号機の燃料取り出し、1～3号機燃料デブリ(注1)取り出しの開始に向け順次作業を進めています。

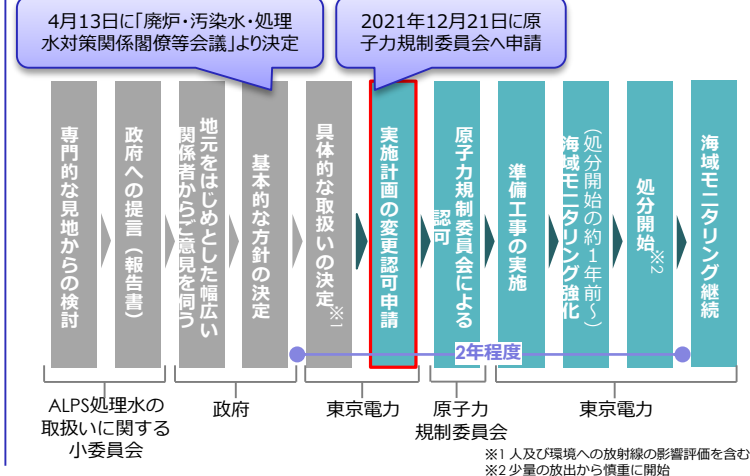
(注1)事故により溶け落ちた燃料



処理水対策

多核種除去設備等処理水の処分について

処理水の海洋放出に当たっては、安全に関する基準等を遵守し、人及び周辺環境、農林水産物の安全を確保してまいります。また、風評影響を最大限抑制するべく、モニタリングのさらなる強化や第三者による客観性・透明性の確保、IAEAによる安全性確認などに取り組むとともに、正確な情報を透明性高く、継続的に発信してまいります。



汚染水対策 ～3つの取組～

(1) 3つの基本方針に従った汚染水対策の推進に関する取組

①汚染源を「取り除く」 ②汚染源に水を「近づけない」 ③汚染水を「漏らさない」

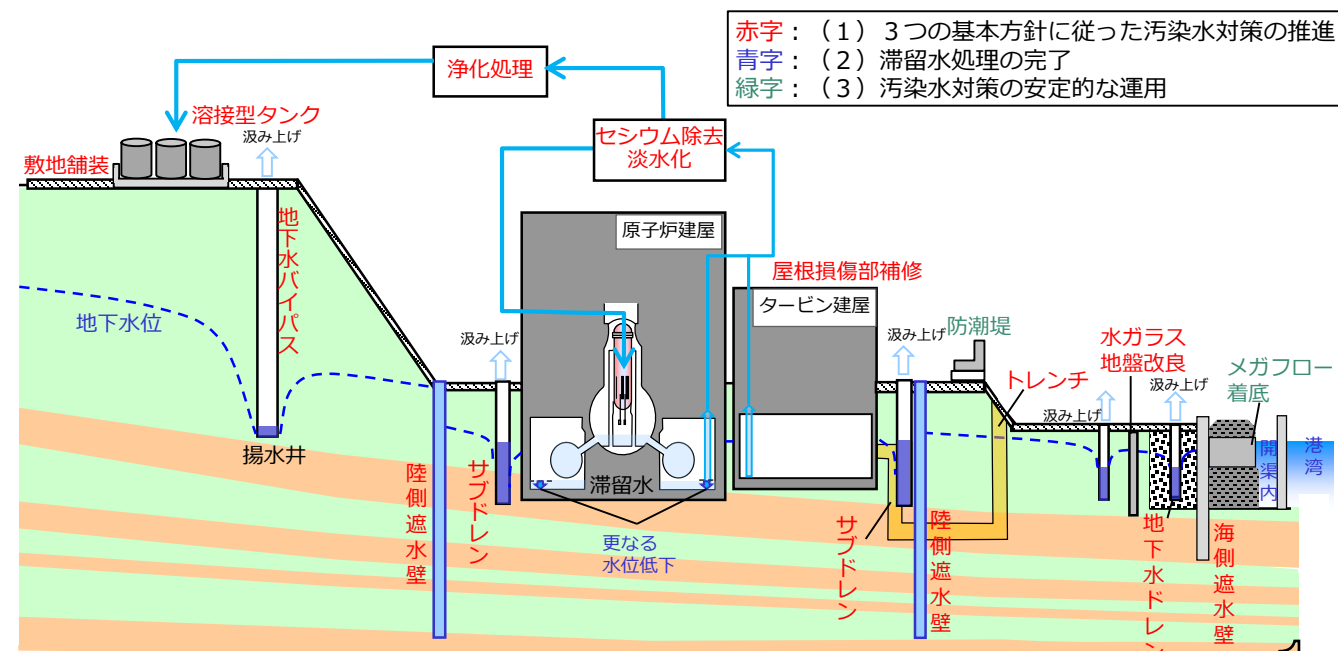
- 多核種除去設備以外で処理したストロンチウム処理水は、多核種除去設備での処理を行い、溶接型タンクで保管しています。
- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な汚染水対策により、建屋周辺の地下水位を低位で安定的に管理しています。また、建屋屋根の損傷部の補修や構内のフェーシング等により、降雨時の汚染水発生量の増加も抑制傾向となり、汚染水発生量は、対策前の約540m³/日（2014年5月）から約180m³/日（2019年度）、約140m³/日（2020年度）まで低減しています。
- 汚染水発生量の更なる低減に向けて対策を進め、2025年内には100m³/日以下に抑制する計画です。

(2) 滞留水処理の完了に向けた取組

- 建屋滞留水水位を計画的に低下させるため、滞留水移送装置を迫設する工事を進めております。
- 2020年に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理が完了しました。
- 今後、原子炉建屋については2022年度～2024年度に滞留水の量を2020年末の半分程度に低減させる計画です。
- プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の地下階に、震災直後の汚染水対策の一環として設置したゼオライト土嚢等について、線量低減策及び安定化に向けた検討を進めています。

(3) 汚染水対策の安定的な運用に向けた取組

- 津波対策として、建屋開口部の閉止対策や防潮堤設置の工事を進めています。また、豪雨対策として、土嚢設置による直接的な建屋への流入を抑制するとともに、排水路強化等を計画的に実施していきます。



東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ進捗状況（概要版）

取組の状況

- ◆ 1～3号機の原子炉・格納容器の温度は、この1か月安定的に推移しています。また、原子炉建屋からの放射性物質の放出量等については有意な変動がなく、総合的に冷温停止状態を維持していると判断しています。

3月16日に発生した福島県沖地震後の福島第一原子力発電所の状況について

3月16日に発生しました福島県沖を震源とする地震により、福島第一原子力発電所の立地地点において、震度6弱を観測したことから、福島第一原子力発電所では警戒事態相当と判断し、監視態勢を強化しました。

地震後パトロールの結果、確認された設備トラブルが発電所運営に影響を及ぼすことがないと判断し、3月17日に通常の監視態勢へ移行しています。

地震に伴い、設備影響（1号機原子炉格納容器の水位低下、使用済燃料プール冷却の停止、コンテナの転倒、タンクの位置ずれ等）があったものの、放射性物質の環境への漏えいや、人身災害、今後のプラント運営に大きな影響を与えるものではありませんでした。

なお、建屋周辺のダストモニタにおいては、地震後に一時的に値が上昇しましたが、敷地境界付近のモニタリングポスト及びダストモニタに有意な変動はなく、その後、通常の値に復帰しています。

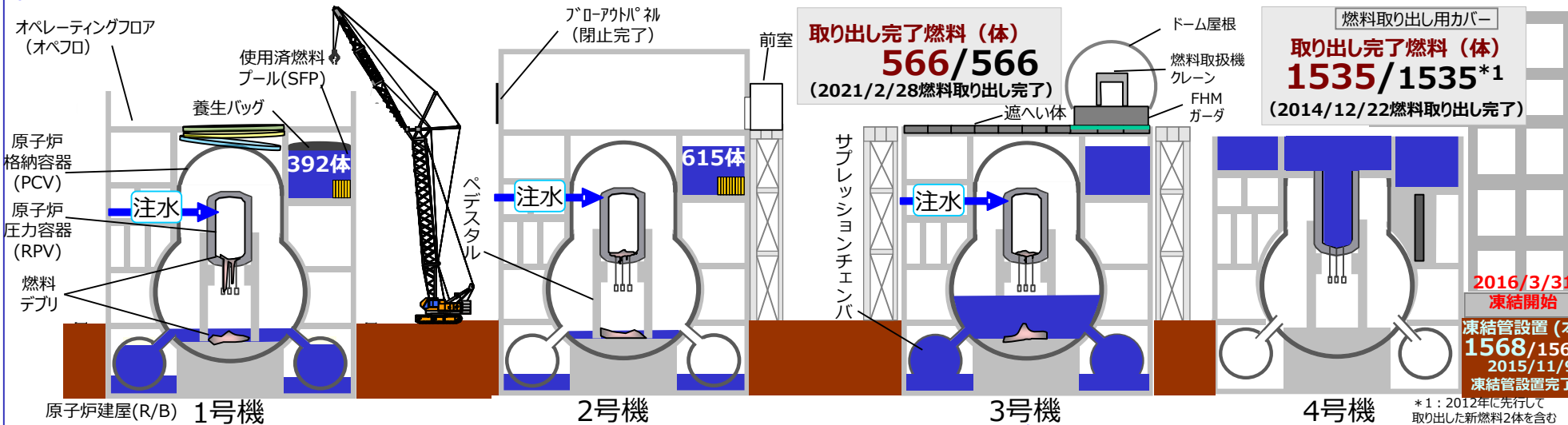
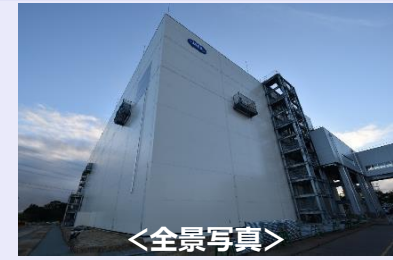


放射性物質分析・研究施設第1棟の整備状況について

放射性物質分析・研究施設第1棟では、瓦礫等の廃棄物試料の他、国によるALPS処理水の第三者分析を行うことを予定しています。

2021年1月の換気空調設備の試験において風量不足を確認しましたが、評価の結果、現行風量においても、負圧維持等の安全機能維持が可能であることを確認しました。

現在、2022年6月末の竣工、運用開始に向けて、実施計画の変更認可申請ならびに空調風量の最終調整を行っています。



5/6号機 サブドレン設備の運用開始

5/6号機サブドレン設備は、5/6号機への地下水の流入量を抑制するため、2020年9月から復旧工事を実施していました。

5/6号機サブドレンくみ上げ設備の復旧およびくみ上げた地下水を既設のサブドレン集水設備へ移送する設備の設置が、2022年1月に完了しています。

その後、2月の総合試験にて設備の健全性を確認したうえで、3月28日より運用（移送）を開始しました。

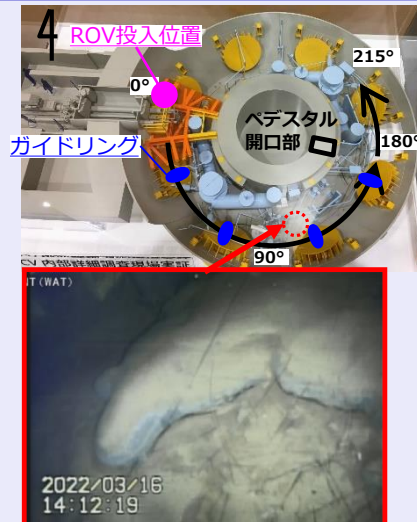
1号機 原子炉格納容器内部へ2機目の水中ロボットを投入

3月14日より2機目の水中ROV-A2を投入し、『ペDESTAL外周部の詳細目視調査』を開始しました。

3月16日までの調査において、新たに塊状の堆積物があること等を確認しましたが、3月16日に発生した地震後、原子炉格納容器（以下、PCV）の水位低下が確認されたことから、調査を一時中断しています。

調査再開に必要な水位を確保するため、原子炉への注水量を増加させ、PCV水位の上昇を確認しましたが、3月29日に水中ROV-A2のカメラに浸水による映像不良が発生しました。

現在、浸水箇所の原因究明や代替機の投入等、調査再開に向け検討を進めています。



2号機 原子炉建屋滞留水 水位目標到達

「1～3号機原子炉建屋（以下、R/B）について、2022～2024年度内にR/B滞留水量を2020年末の半分程度に低減すること」を、中長期ロードマップにおけるマイルストーンに掲げています。

2号機R/Bでは格納容器の圧力やダスト濃度などのパラメータを監視しながら、慎重に水位低下を実施し、2022年3月に目標水位であるT.P.-2800程度まで到達しました。

引き続き、1、3号機R/Bの水位低下を実施し、中長期ロードマップのマイルストーン達成に向けて取り組んでいきます。

福島第一原子力発電所における視察・座談会について

福島県内にお住まいの皆様へ廃炉・汚染水・処理水対策の現状について理解を深めて頂くため、次年度、「東京電力福島第一原子力発電所の視察・座談会」の回数をさらに増やして実施します。

※13市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、いわき市）の住民向けに月に1回、その他の県内住民向けに年5回実施を予定。

主な取組の配置図



提供：日本スペースイメージング（株）2021.4.8撮影
Product(C)[2021] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company. 3